



HIC-S*400 シリーズ

取扱説明書

HYTEC INTER Co., Ltd.

第 1.1 版

ご注意

- 本書の中に含まれる情報は、当社（ハイテクインター株式会社）の所有するものであり、当社の同意なしに、全体または一部を複写または転載することは禁止されています。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り、記載漏れなどのお気づきの点がありましたらご連絡ください。

改版履歴

第 1 版	2020 年 6 月 15 日	新規作成
第 1.1 版	2023 年 7 月 11 日	OSD 注意事項追記

ご注意

- 本製品及び付属品をご使用の際は、取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品及び付属品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本製品及び付属品の故障、誤動作、不具合、あるいは天災、停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害等の純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なしに仕様が変更される可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 本製品を掃除する時は、柔らかい乾いた布で汚れをふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 太陽光などの非常に明るい被写体にカメラを向けるのは避けてください。イメージセンサが損傷する可能性があります。

目次

1. はじめに	7
1.1 製品概要	7
1.2 特徴	7
1.3 監視アプリケーション	7
1.4 梱包物一覧	8
1.5 製品外観	9
1.6 カメラの設置	11
2. ネットワーク接続	14
2.1 LAN	14
2.1.1 IP-Tool によるアクセス	14
2.1.2 IE へ直接アクセス	16
2.2 WAN	17
2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス	17
2.2.2 静的 IP によるアクセス	18
3. ライブ画面	19
4. 設定ホーム	22
4.1 システム設定	23
4.1.1 基本情報	24
4.1.2 日付と時間	25
4.1.3 ローカル設定	27
4.1.4 ストレージ	28
4.2 画像設定	36
4.2.1 画質調整	37
4.2.2 ビデオ/音声	41
4.2.3 OSD	43
4.2.4 プライバシーマスク	44
4.2.5 ROI	46
4.2.6 レンズの調整	48
4.2.7 screenBrightness	49
4.3 アラーム設定	50

4.3.1	モーション検出	51
4.3.2	異常	59
4.3.3	アラーム入力	63
4.3.4	アラーム接点出力	66
4.3.5	アラームサーバ	69
4.4	イベント設定	70
4.4.1	妨害検知	71
4.4.2	ラインクロス	74
4.4.3	領域に入る	79
4.4.4	領域を出る	84
4.4.5	ターゲットカウント	89
4.4.6	エリア侵入検知	94
4.4.7	顔検出	99
4.5	ネットワーク	106
4.5.1	TCP/IP	107
4.5.2	ポート	110
4.5.3	サーバ	111
4.5.4	DDNS	112
4.5.5	SNMP	114
4.5.6	802.1X	117
4.5.7	RTSP	118
4.5.8	UPnP	119
4.5.9	Email	120
4.5.10	FTP	123
4.5.11	HTTPS	125
4.5.12	QoS	126
4.6	セキュリティ設定	127
4.6.1	ユーザ	128
4.6.2	オンラインユーザ	130
4.6.3	ブロックと許可リスト	131
4.6.4	セキュリティ管理	132
4.7	メンテナンス	133
4.7.1	バックアップと復元	134
4.7.2	再起動	136
4.7.3	アップグレード	137
4.7.4	操作ログ	138

5. 検索	139
5.1 録画検索	140
5.1.1 ローカル録画	140
5.1.2 SD カード録画	141
5.2 画像検索	143
5.2.1 ローカル画像	143
5.2.2 SD カード画像	144
6. 製品仕様	145
7. 困ったときには	149
8. 製品保証	151

1. はじめに

1.1 製品概要

本機は、1/3" 4メガピクセル CMOS センサーを搭載し、解像度：2592X1520 で撮影することができる、高解像度・高ダイナミックレンジを実現したネットワークカメラです。

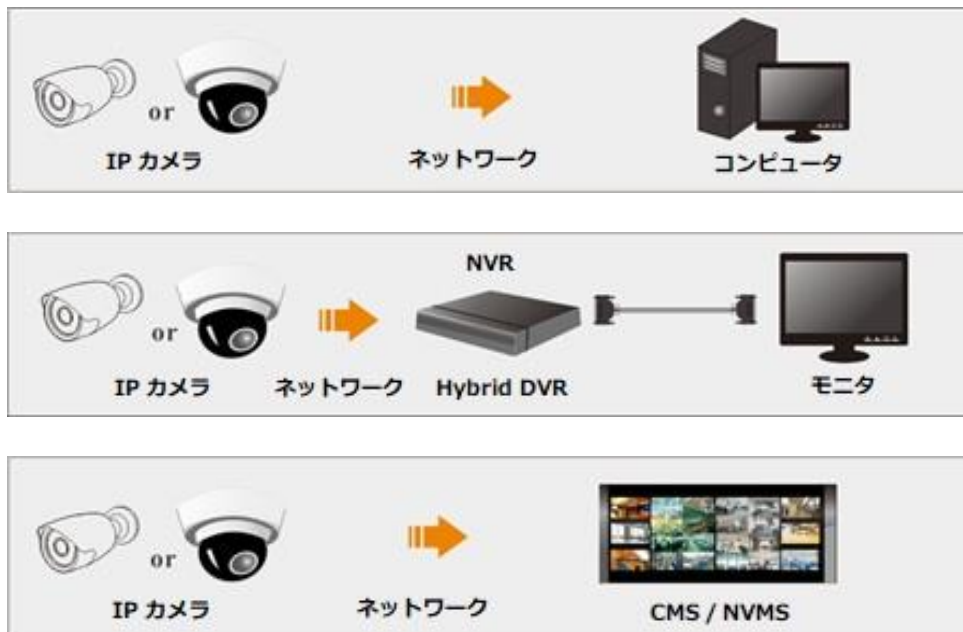
ディープラーニング推論エンジンによる、「人間」「車両」の検出に対応。また「顔」認識機能も搭載し、顔認証対応 NVR との組み合わせで、容易に顔認証システムが構築できます。

豊富な機能を装備し、監視用途全般に適したネットワークカメラです。

1.2 特徴

- 4Mpix CMOS センサーを搭載し、高画質、高感度、高ダイナミックレンジを実現
- ディープラーニング推論エンジンによる「人間」「車両」「顔」の検出
- H.265/H.265+に対応
- PoE 対応
- SD カード録画対応

1.3 監視アプリケーション



1.4 梱包物一覧

ご使用いただく前に本体と付属品を確認してください。万一、不足の品がありましたら、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

● バンダルドームカメラ HIC-SD400

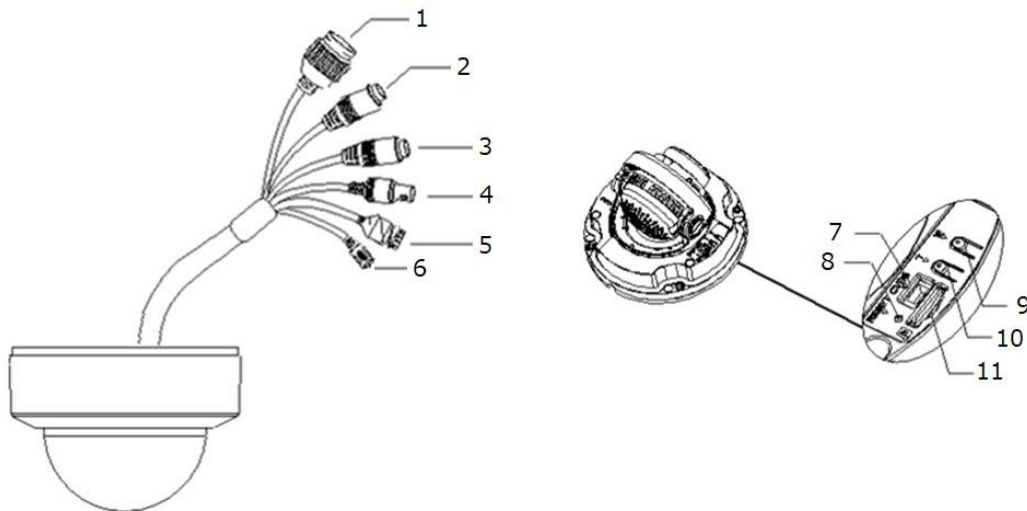
名 称	数 量
本体	1 台
クイックスタートアップガイド	1 枚
Software Installation CD	1 枚
ドリル用テンプレート	1 枚
タッピングねじ PA 4x25	4 本
アンカー	4 本
ゴム栓	1 個
六角棒スパナ	1 個
CVBS&DC IN ケーブル	1 本

● バレットカメラ HIC-SB400

名 称	数 量
本体	1 台
クイックスタートアップガイド	1 枚
Software Installation CD	1 枚
ドリル用テンプレート	1 枚
タッピングねじ PA 4x25	4 本
機械ねじ PW M3x5	1 本
アンカー	4 本
六角棒スパナ	1 個
CVBS&DC IN ケーブル	1 本

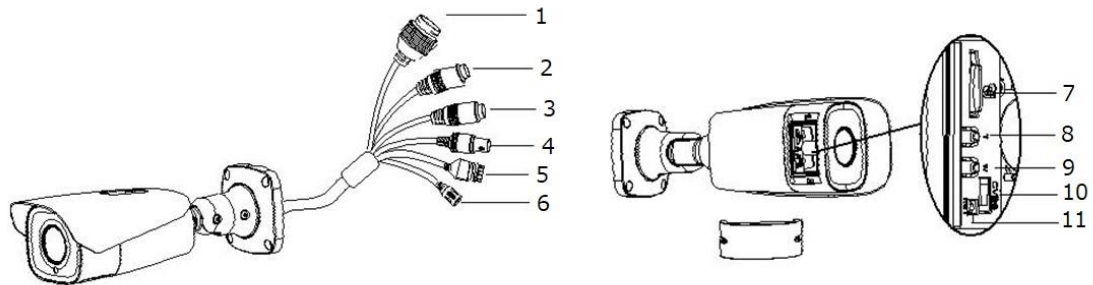
1.5 製品外観

● バンダルドームカメラ HIC-SD400



#	表示	説明
1	<u>Ethernet</u>	LAN ケーブル接続 (10Mbps/100Mbps) ※PoE 可
2	<u>MIC</u>	オーディオ入力 (MIC)
3	<u>HP</u>	オーディオ出力
4	<u>VIDEO</u>	ビデオ出力 (CVBS)
5	<u>ALARM</u>	アラームの入力/出力 1 -- ALARM_COM, 2 -- ALARM_OPEN 3 -- ALARM_INA, 4 -- ALARM_GND
6	<u>POWER</u>	DC12V 入力
7	<u>CVBS</u>	付属品の CVBS&DC IN ケーブル接続
8	<u>RESET</u>	リセットボタン
9	<u>W</u>	ズームアウト
10	<u>I</u>	ズームイン
11	<u>TF</u>	メモ리카ード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入 SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。

● バレットカメラ HIC-SB400



#	表示	説明
1	<u>Ethernet</u>	LAN ケーブル接続 (10Mbps/100Mbps) ※PoE 可
2	<u>MIC</u>	オーディオ入力 (MIC)
3	<u>HP</u>	オーディオ出力
4	<u>VIDEO</u>	ビデオ出力 (CVBS)
5	<u>ALARM</u>	アラームの入力/出力 1 -- ALARM_COM, 2 -- ALARM_OPEN 3 -- ALARM_INA, 4 -- ALARM_GND
6	<u>POWER</u>	DC12V 入力
7	<u>TF</u>	メモ리카ード (Micro SD/SDHC/SDXC) をスロットに挿入 SD カードに録画、スナップショットの保存を行います。
8	<u>T</u>	ズームイン
9	<u>W</u>	ズームアウト
10	<u>CVBS</u>	付属品の CVBS&DC IN ケーブル接続
11	<u>RESET</u>	リセットボタン

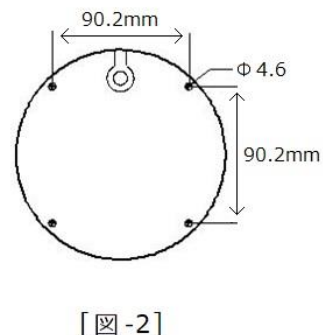
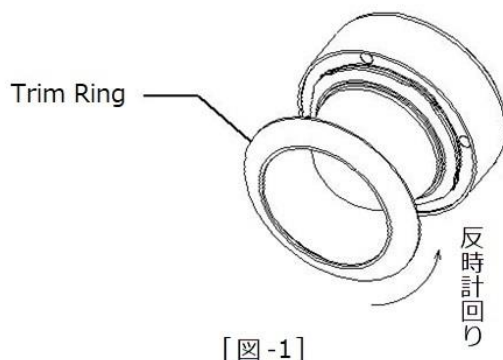
1.6 カメラの設置

本製品の設置方法について説明します。以下の注意点をご確認の上、設置してください。

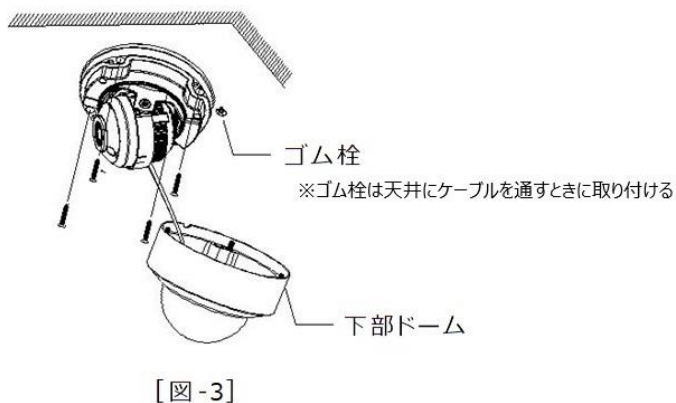
- 注 1 壁または天井がカメラの 3 倍の重量に耐えられる強度であることを確認してください。
- 注 2 カメラは乾燥した場所に設置してください。下部ドームまたはカバーを取り外してから 4 時間以内に元に戻してください。
- 注 3 取り付けが完了するまで保護フィルムを剥がさないでください。

● バンダルドームカメラ HIC-SD400

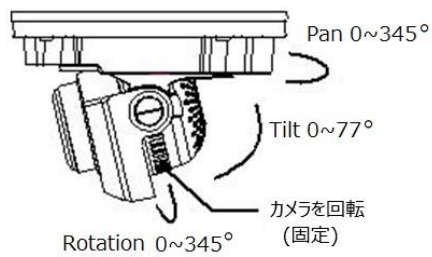
- ① Trim Ring(黒枠)を反時計回りにまわして、カメラから取り外します。[図-1]



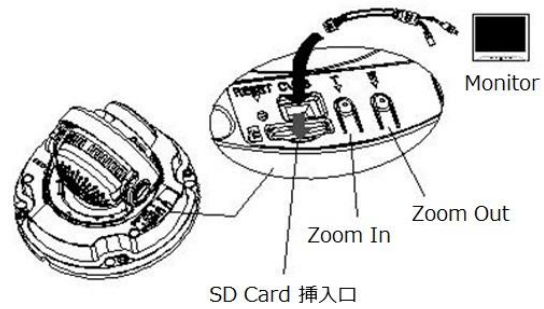
- ② カメラを設置する場所に、付属品の「ドリル用テンプレート」を貼りつけます。
テンプレートに従ってねじ穴 4 つと、ケーブル穴 1 つ(ケーブルを天井に通す場合)を開けます。[図-2]
- ③ 六角棒スパナでねじを緩め、下部ドームを開きます。付属品の取り付けねじで、天井または壁にカメラを固定します。[図-3]



- ④ モニタを接続し、カメラ映像を表示できます。Pan / Tilt / Rotation で角度を調整します。[図-4]

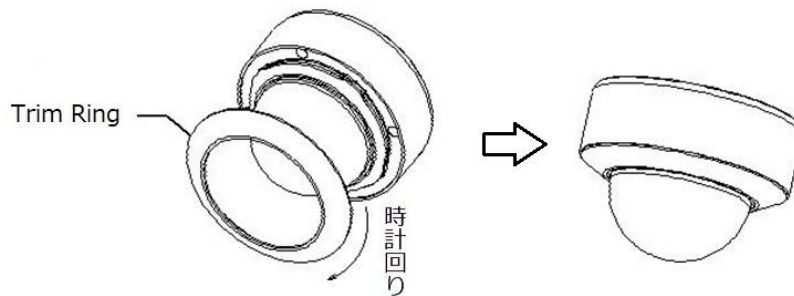


[図-4]



[図-5]

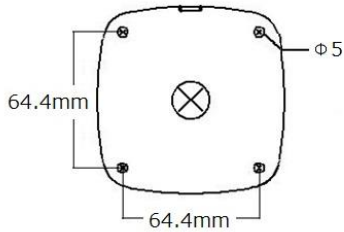
- ⑤ Micro SD カードを挿入します。T または W で、カメラのズームとフォーカスを調整します。[図-5]
- ⑥ 下部ドームをカメラに取り付け、六角棒スパナでねじを固定します。
- ⑦ Trim Ring(黒枠)を下部ドームに置いて、ロックされるまで時計回りにまわします。[図-6]
最後に保護フィルムを剥がすと、設置完了となります。



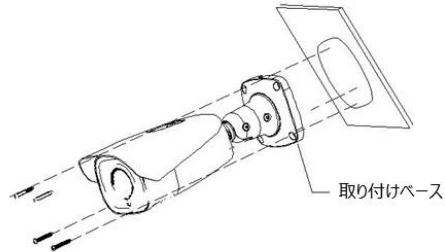
[図-6]

● バレットカメラ HIC-SB400

- ① カメラを設置する場所に、付属品の「ドリル用テンプレート」を貼りつけます。
テンプレートに従ってねじ穴 4 つと、ケーブル穴 1 つ(ケーブルを天井に通す場合)を開けます。[図-1]

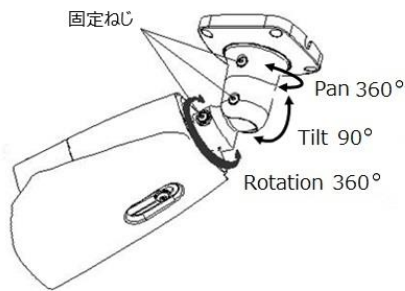


[図-1]

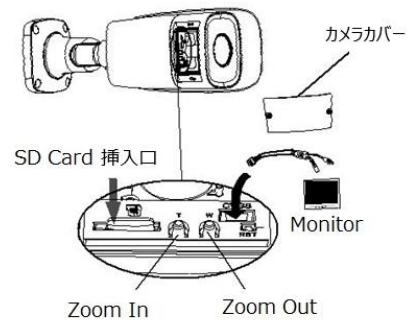


[図-2]

- ② 付属品の取り付けねじで、取り付けベースを天井または壁に固定します。[図-2]
- ③ モニタを接続し、カメラ映像を表示できます。付属品の六角棒スパナで固定ねじを緩めてから、Pan / Tilt / Rotation で角度を調整します。調整後は、固定ねじをしっかりと締めます。[図-3]

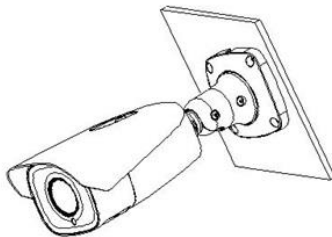


[図-3]



[図-4]

- ④ カメラカバーを開き、Micro SD カードを挿入します。T または W で、カメラのズームとフォーカスを調整します。[図-4]
- ⑤ カメラカバーを取り付け、ねじで固定します。最後に保護フィルムを剥がすと設置完了です。[図-5]



[図-5]

2. ネットワーク接続

Lan または Wan 経由で IP カメラを接続します。詳細は次のとおりです。


2.1 LAN

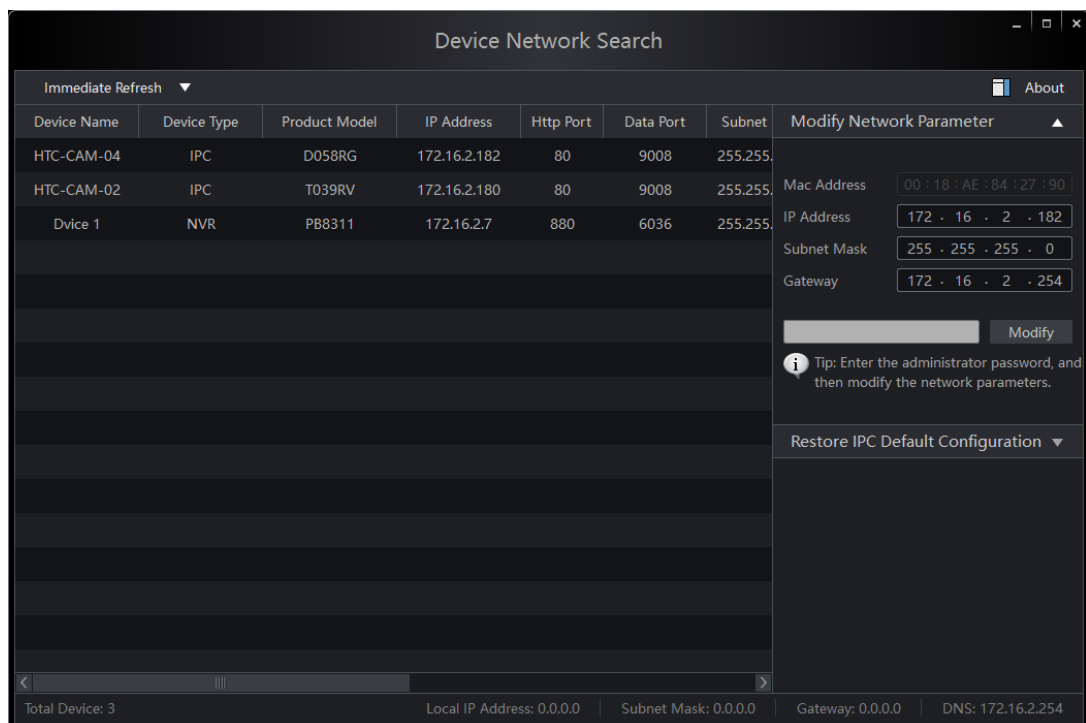
LAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.1.1 IP-Tool によるアクセス

ネットワーク接続：



- ① IP-Tool を CD から PC(コンピュータ)にインストールしておきます。
- ② PC と IP カメラが LAN で接続されていることを確認します。
- ③ デスクトップ上にある IP-Tool アイコン  をダブルクリックすると、以下のように動作します。



- ④ IP アドレスを変更します。このカメラのデフォルト IP アドレスは 192.168.226.201 です。リストのカメラをクリックすると、右手にネットワーク情報が表示します。ネットワークアドレスがコンピュータのローカルネットワークセグメントと同じであることを確認します。同じでない場合は、カメラの IP アドレスとゲートウェイを変更する必要があります。

例：コンピュータの IP アドレスが 172.16.2.4 である場合、カメラの IP アドレスを 172.16.2.X に設定します。変更後、管理者のパスワードを入力し、「Modify」ボタンをクリックして変更します。

管理者のデフォルトパスワードは “**123456**” です。

- ⑤ リスト内のカメラをダブルクリックすると、IE ブラウザがポップアップして IP カメラに接続します。指示に従い、該当するプラグインをインストールして実行します。

名前とパスワードを入力して、ストリームタイプと言語は日本語を選択し、ログインします。

デフォルトの名前は “**admin**” 、デフォルトパスワードは “**123456**” です。

- ⑥ デフォルトのパスワード変更を要求されます。セキュリティのために、デフォルトパスワードの変更をお勧めします。パスワードを変更する場合は、「パスワードを修正する」にチェックを入れ、新しいパスワードを設定します。変更しない場合は、そのまま「OK」をクリックします。「もう表示しません」にチェックを入れると、次回からこのメッセージは表示されません。

2.1.2 IE へ直接アクセス

デフォルトネットワーク設定を表示します。カメラに初めてログインするときは、下記のデフォルト設定を使用してください。

IP アドレス : 192.168.226.201	サブネットマスク : 255.255.255.0
ゲートウェイ : 192.168.226.1	HTTP ポート : 80
データポート : 9008	

LAN ケーブルを使用して、カメラとコンピュータを直接接続します。



- ① PC の IP アドレスを手動で設定し、IP カメラのデフォルト設定と同じネットワークセグメントにする必要があります。コントロールパネルを開き、ネットワークと共有センター ⇒ アダプターの設定の変更 ⇒ イーサネットを開きます。(例 : Windows10)
- ② イーサネットのプロパティから「インターネット プロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を開きます。PC の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを入力し、「OK」をクリックします。
- ③ IE ブラウザを開き、IP カメラのデフォルト IP アドレスを入力します。
- ④ 指示に従って、該当するプラグインをインストールして実行します。
- ⑤ ログイン画面でデフォルトの名前とパスワードを入力し、ログインをクリックします。

2.2 WAN

WAN では、IP カメラへのアクセス方法は 2 つあります。

2.2.1 ルータまたは仮想サーバを介したアクセス

ネットワーク接続：



- ① カメラがローカルネットワークで接続されていることを確認し、LAN 経由でカメラにログインします。
- ② 設定>ネットワーク>ポートメニュー([4.5.2 ポート](#))に移動して、ポート番号を設定します。

HTTPポート	80
HTTPSポート	443
データポート	9008
RTSPポート	554

- ③ 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー([4.5.1 TCP/IP](#))に移動して、IP アドレスを設定します。
「以下の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う			
IPアドレス	192.168.226.201	テスト	
サブネットマスク	255.255.255.0		
ゲートウェイ	192.168.226.1		
優先DNSサーバ	192.168.226.1		
代替DNSサーバ	8.8.8.8		
保存			

- ④ WAN 経由で通信する場合は、ルータでポートフォワーディングの設定をする必要があります。
HTTP ポートとデータポートをフォワーディングしてください。Onvif 接続の時は、HTTP ポートと RTSP ポートをフォワーディングします。
- ⑤ IE ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。
例：http://192.168.226.180:880

2.2.2 静的 IP によるアクセス

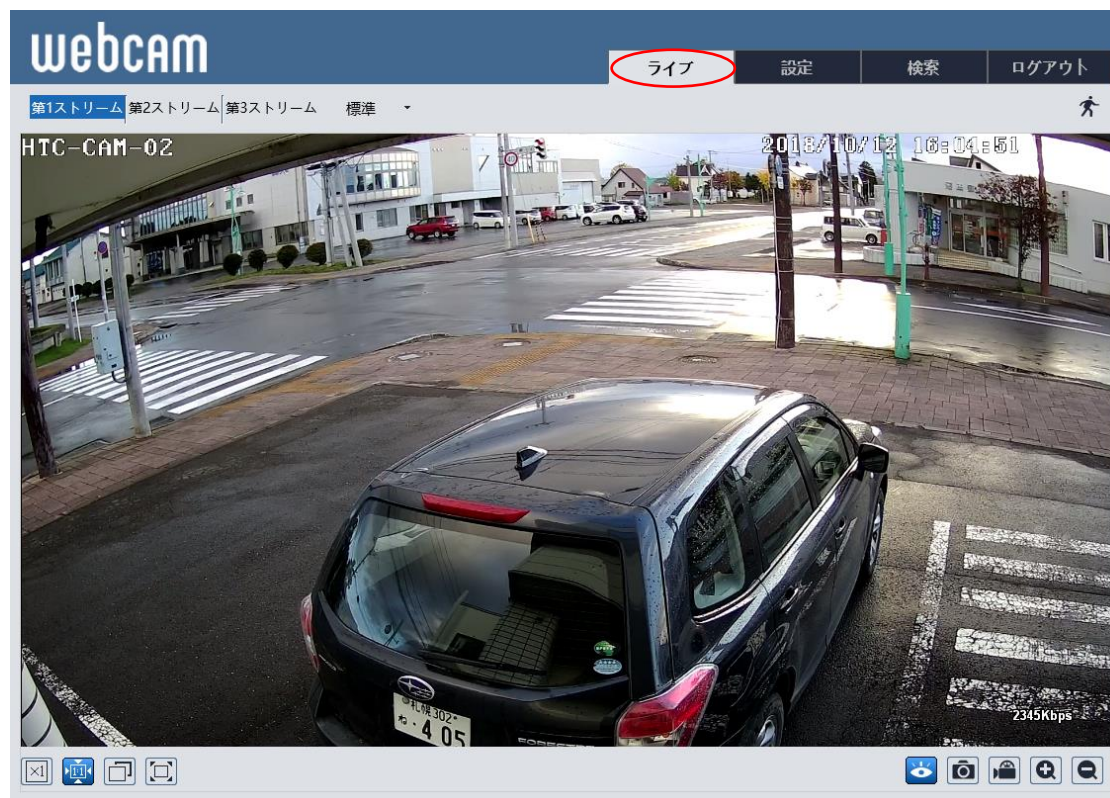
ネットワーク接続：



- ① 設定>ネットワーク>ポートメニュー([4.5.2 ポート](#))に移動して、ポート番号を設定します。
- ② 設定>ネットワーク>TCP/IP メニュー([4.5.1 TCP/IP](#))に移動して、IP アドレスを設定します。
「以下の IP アドレスを使用してください」を選択し、IP アドレスなどのパラメータを入力します。
- ③ IE ブラウザを開き、アクセスする WAN IP と HTTP ポートを入力します。
例：http://192.168.226.180:880

3. ライブ画面

右上の“ライブ”タブを開きます。



ライブ画面(左上)の説明












再生するライブ画面の画質を、第 1 ストリーム / 第 2 ストリーム / 第 3 ストリーム からを選択します。
各ストリームの設定は、[4.2.2 ビデオ/音声](#) で行います。

ライブ画面(左下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	等倍表示 (1 : 1)		オリジナルアスペクト比
	ウィンドーに合わせる		フルスクリーン※1

※1 フルスクリーンモードの終了方法は、マウスでダブルクリックするか、キーボードの Esc キーを押します。

ライブ画面(右上)のアイコン説明 ※2

アイコン	説明	アイコン	説明
	モーション検出のアラーム表示		アラーム入力のアラーム表示
	シーンチェンジのアラーム表示		異常な透明度のアラーム表示
	色異常のアラーム表示		リンククロスのアラーム表示
	領域に入るのアラーム表示		領域を出るのアラーム表示
	ターゲットカウントのアラーム表示		エリア侵入検知のアラーム表示
	顔検出のアラーム表示		SD カードの有無を表示※3

※2 各検出アラームが有効になっている場合のみアイコンを表示し、無効時は表示されません。検出された場合、アイコンが赤く点滅します。

※3 SD カードは挿入されるとアイコンが表示され、録画・画像保存時に赤く点灯します。

ライブ画面(右下)のアイコン説明

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビューのオン/オフ		双方向音声のオン/オフ
	スピーカーのオン/オフ		スナップショット※4
	手動録画のオン/オフ※5		ズームイン/ズームアウト
	レンズ調整のオン/オフ※6		顔検出※7

※4 スナップショットは、[4.1.3 ローカル設定](#)の「静止画保存のパス」のフォルダに保存されます。

《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス 》

 << Program Files > NetAllIPCamera > picture > 172.16.2.180

※5 録画は、[4.1.3 ローカル設定](#)の「録画保存のパス」のフォルダに保存されます。

《 録画保存のパス > video > IP アドレス 》

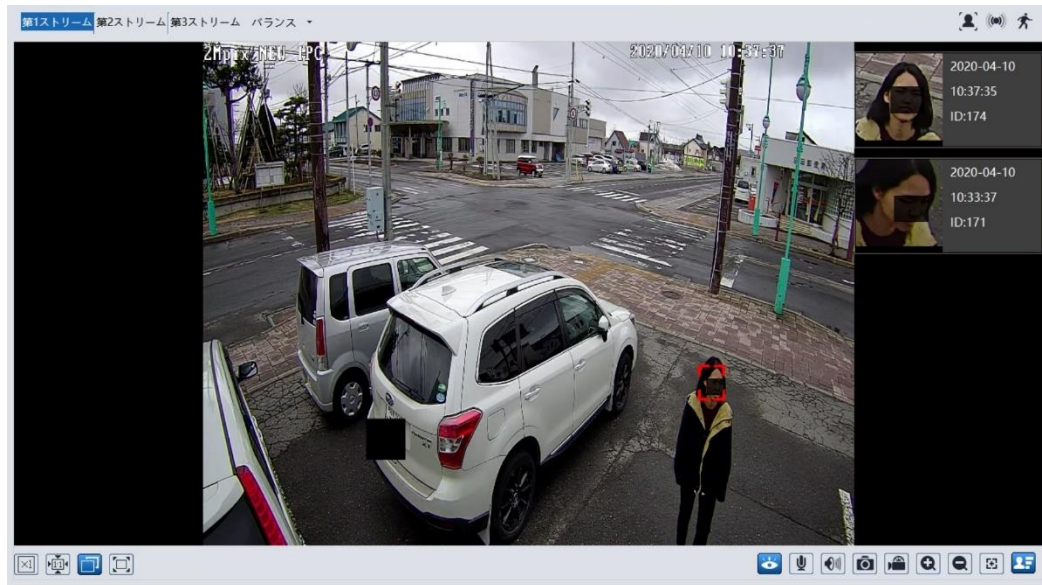
 << Program Files > NetAllIPCamera > video > 172.16.2.180

※6 レンズの調整をオンにすると、以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明	アイコン	説明
	ズームアウト		ズームイン
	フォーカス近く		フォーカス遠く
	ワンクリックでフォーカスを調整		

※7 顔が検出されると、顔写真を右側に表示します。日付・時刻・ID 情報が表示されます。

[4.4.7 顔検出](#)で、事前に顔の検出を有効にしてください。



4. 設定ホーム

右上の“設定”タブを開きます。



4.1 システム設定

基本情報、日付と時間、ローカル設定、ストレージ、4 つのサブメニューがあります。

<div> システム設定</div> <div>基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</div>	設定ホーム ▶ システム設定
<div> 画像設定</div> <div>画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI レンズの調整</div>	<div>システム設定</div> <div><ul style="list-style-type: none">● 基本情報 デバイス名称や製品型名、ソフトウェアバージョン等、基本的な情報を表示します● 日付と時間 本機の日付と時間を設定します● ローカル設定 このPCでのファイルの保存先等を設定します● ストレージ SDカードのフォーマットや、SDカード記録に関する項目を設定します。</div>
<div> アラーム設定</div> <div>モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</div>	
<div> イベント設定</div> <div>妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔検出</div>	
<div> ネットワーク設定</div> <div>TCP/IP ポート 更に追加...</div>	
<div> セキュリティ設定</div> <div>ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理</div>	
<div> メンテナンス</div> <div>バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</div>	

4.1.1 基本情報

デバイス名やモデル名、ソフトウェアバージョン、MAC アドレスなど、基本的な情報を表示します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 基本情報	
デバイス名	<input type="text" value="2Mpix_NEW_IPC"/>
モデル名	<input type="text" value="T077SG"/>
ブランド	<input type="text" value="Customer"/>
ソフトウェアバージョン	<input type="text" value="5.0.1.0(5894)"/>
ソフトウェア構築日	<input type="text" value="2020-03-05"/>
カーネルバージョン	<input type="text" value="20190715"/>
ハードウェアバージョン	<input type="text" value="1.3-1422321"/>
Onvifバージョン	<input type="text" value="19.06"/>
ビデオ構造化バージョン	<input type="text" value="1.1.7"/>
顔検出バージョン	<input type="text" value="1.1.27"/>
vehicleVersion	<input type="text" value=""/>
OCXバージョン	<input type="text" value="2.0.8.4"/>
MAC	<input type="text" value="00:0f:3a:a0:43:3f"/>

※ デバイス名の変更は、[4.2.3. OSD](#) の「デバイス名」にて変更できます。

4.1.2 日付と時間

デバイスの日付と時間の設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ 日付と時間

タイムゾーン

日時合わせ

タイムゾーン GMT+09 (東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄) ▼

☐ サマータイム

☒ 自動サマータイム

☐ 手動サマータイム

開始時間 1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間

終了時間 2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間

オフセット時間 120 分 ▼

保存

➤ タイムゾーン

“タイムゾーン”タブを開き、タイムゾーンの設定を行います。

タイムゾーン

日時合わせ

タイムゾーン GMT+09 (東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄) ▼

☐ サマータイム

☒ 自動サマータイム

☐ 手動サマータイム

開始時間 1月 ▼ 最初 ▼ 日曜日 ▼ 00 ▼ 時間

終了時間 2月 ▼ 最初 ▼ 月曜日 ▼ 00 ▼ 時間

オフセット時間 120 分 ▼

表示	説明
タイムゾーン	日本のタイムゾーンは、「GMT+09（東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、沖縄）」です。
サマータイム	サマータイムを設定するには、「サマータイム」にチェックを入れ、自動サマータイムまたは手動サマータイムを選択します。手動サマータイムを選択した場合、開始時間と終了時間、オフセット時間を設定します。

➤ 日時合わせ

“日時合わせ”タブを開き、日付と時刻の設定を行います。

タイムゾーン	日時合わせ	
日時調整モード		
<input type="radio"/> NTPサーバに同期		
NTPサーバ:	ntp.nict.jp	更新間隔 1440 分
<input type="radio"/> パソコンの時間に同期		
日付	2020-03-26	時間 14:54:58
<input checked="" type="radio"/> 手動で設定		
日付	2020-03-26 	時間 14:58:37

日付と時刻の設定方法

◆ NTP

「NTPサーバに同期」を選択します。

NTPサーバのアドレスを入力し、日時の更新間隔(分)を設定します。

◆ パソコンと時間同期

「パソコンの時間と同期」を選択します。

パソコンの時間と自動的に同期を行います。

◆ 手動

「手動で設定」を選択します。

をクリックして、カレンダーから日付を選択、時間を入力します。

※ SDカードに録画している場合、時計の時間を遅らせると、遅らせた時間分の録画は消去されます。

4.1.3 ローカル設定

ローカル PC の写真・録画ファイルの保存先などを設定します。

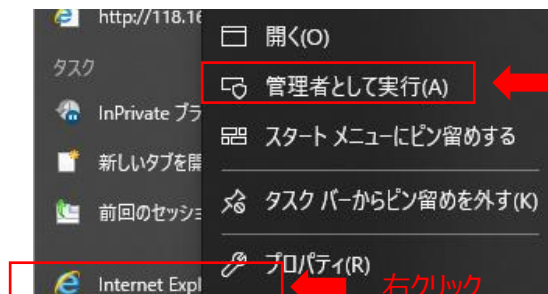
設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ローカル設定

静止画保存のパス	C:\Program Files\NetAllPCamera	保存先変更
録画保存のパス	C:\Program Files\NetAllPCamera	保存先変更
録画音声の設定	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ビットレートを表示	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	
ローカルスマート静止画保存ストレージ	<input type="radio"/> ON <input checked="" type="radio"/> OFF	

保存

表示	説明
静止画保存のパス	スナップショット画像を PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画保存のパス	録画ビデオを PC 内のフォルダに保存します。 保存先変更をクリックして保存先フォルダを指定します。
録画音声の設定	録画音声の有効(ON)または無効(OFF)を設定します。
ビットレートを表示	保存した画像やビデオファイルにビットレートを表示できます。有効(ON)または無効(OFF)を設定します。
ローカルスマート静止画保存ストレージ	イベントによって検出されたときの画像を、ローカル PC に保存します。 ローカル PC に保存する場合は、有効(ON)にしてください。

注 動画ファイルや静止画ファイルをローカル PC に保存するためには、ブラウザ（IE）は必ず管理者権限で起動してください。





4.1.4 ストレージ

SD カードのフォーマットや、写真・録画ファイルの保存に関する項目などを設定します。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ		
<div>管理 録画 写真撮影</div>		
写真保存領域のサイズ	11891 MB	
残りの写真保存容量	5354 MB	
録画保存領域のサイズ	106945 MB	
残りの録画容量	0 MB	
状態	正常	
写真保存領域	10	%
録画保存領域	90	%
割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは消去されます。		
<div>カード取り出し フォーマット</div>		

➤ 管理

“管理”タブを開き、SD カードの容量を表示・設定します。

SD カードが挿入されると、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。SD カードに録画や画像が保存されると、アイコン  は赤く点灯します。

管理 録画 写真撮影	
写真保存領域のサイズ	11891 MB
残りの写真保存容量	5354 MB
録画保存領域のサイズ	106945 MB
残りの録画容量	0 MB
状態	正常
写真保存領域	10 %
録画保存領域	90 %
割り当て比率の変更を反映させる場合はフォーマットを実行してください。フォーマットすると記録されたデータは消去されます。	
<div>カード取り出し</div> <div>フォーマット</div>	

表示	説明
写真保存領域のサイズ	SD カード内の写真を保存できる容量を表示します。
残りの写真保存容量	写真を保存できる、残りの空き容量を表示します。
録画保存領域のサイズ	SD カード内の録画を保存できる容量を表示します。
残りの録画容量	録画できる、残りの空き容量を表示します。
状態	SD カードの状態を表示します。
写真保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、写真を保存できる割合を設定します。
録画保存領域 ※	SD カードの全容量に対して、録画を保存できる割合を設定します。
カードの取り出し	カメラから SD カードを取り出すときにクリックしてください。
フォーマット	フォーマットを行うと、SD カード内のデータはすべて消去されます。

※写真と録画の保存割合を適用するには、フォーマットする必要があります。

➤ 録画

“録画”タブを開き、SD カードへの録画に関する設定を行います。

管理
録画
写真撮影
ftpSnapshot

録画パラメータ

録画ストリーム
第1ストリーム
▼

プレ録画時間
プレ録画なし
▼
(H264,H265,MJPEG)

上書きする
はい
▼

設定された時間で実行

☐ スケジュール記録有効

○ 消去 ● 追加

一週間の日程

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
日	00:00-24:00																								手動入力
月	00:00-24:00																								手動入力
火	00:00-24:00																								手動入力
水	00:00-24:00																								手動入力
木	00:00-24:00																								手動入力
金	00:00-24:00																								手動入力
土	00:00-24:00																								手動入力

休日設定とスケジュール

日付

追加
削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

00:00-24:00

手動入力

保存

録画パラメータ

表示	説明
録画ストリーム	録画を行うストリームを選択します。 解像度や画質などの設定は 4.2.2 ビデオ/音声 で調整します。
プレ録画時間	“プレ録画なし”を選択した場合、「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の映像を録画します。 “3 秒”または“6 秒”を選択した場合、イベント発生の 3 秒または 6 秒前の映像から録画を行います。
上書きする	容量が一杯になったときに、上書き録画を行うか選択します。

※ イベントによる録画は、[4.3 アラーム設定](#)や [4.4 イベント設定](#)の連携するアラーム出力で、「SD カード録画」が有効(チェックあり)のときに実行されます。

設定された時間で実行

表示	説明
スケジュール記録有効	チェックを入れると、スケジュールによる録画を行います。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：写真保存を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：写真保存を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、追加 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから 削除 をクリックします。

➤ 写真撮影

“写真撮影”タブを開き、SD カードに保存するスナップショットに関する設定を行います。

管理 録画 写真撮影 ftpSnapshot

写真撮影パラメータ

画像フォーマット

JPEG

解像度

352x240

画質

低い

イベント発生に連動

撮影時間間隔

1

秒

撮影枚数

5

設定された時間で実行

☐ 有効にする

撮影時間間隔

5

秒

☐ 消去 ☒ 追加

一週間の日程

日

00:00-24:00

手動入力

月

00:00-24:00

手動入力

火

00:00-24:00

手動入力

水

00:00-24:00

手動入力

木

00:00-24:00

手動入力

金

00:00-24:00

手動入力

土

00:00-24:00

手動入力

休日設定とスケジュール

日付

04-06

追加

削除

00:00-24:00

手動入力

保存

写真撮影パラメータ

表示	説明
画像フォーマット	フォーマットは Jpeg のみです。
解像度	スナップショットの解像度を選択します。
画質	画質を高い/中/低いから選択します。

※スナップショット解像度の設定は、[4.2.2 ビデオ/音声](#) で行います。

イベント発生に連動

表示	説明
撮影時間間隔	「イベント発生中の時間+アラーム保持時間」の時間内で、何秒間隔でスナップショットを撮影し、SD カードに保存するか設定します。
撮影枚数	撮影時間間隔で、最大何枚のスナップショットを撮影するか設定します。


※ [4.3 アラーム設定](#)や [4.4 イベント設定](#)の連携するアラーム出力で、「写真をSDカードに保存」が有効(チェックあり)のときに実行されます。

SD カードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム保持時間：20 秒、撮影時間間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。

アラーム保持時間	20秒				
撮影時間間隔	5	秒			
撮影枚数	3				




	時間	タイプ
1	08:23:49	■
2	08:23:44	■
3	08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存しています。

[例 2] アラーム保持時間：3 秒、撮影時間間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、3 秒でアラーム保持時間が終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

アラーム保持時間	3秒				
撮影時間間隔	5	秒			
撮影枚数	2				



	時間	タイプ
1	08:31:47	■

※アラーム保持時間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

設定された時間で実行

表示	説明
有効にする	チェックを入れると、スケジュールによる写真の保存を行います。
撮影時間間	有効の時間帯で何秒間隔の写真を保存するのか設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：録画を無効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：録画を有効にする時間帯をタイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、追加 をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから 削除 をクリックします。

➤ ftpSnapshot (OPTION)

“ftpSnapshot”タブを開き、FTP サーバへ写真を送信する設定を行います。

設定ホーム ▶ システム設定 ▶ ストレージ

管理 録画 写真撮影 **ftpSnapshot**

☒ 有効にする

serverAddress 172.16.2.9 ▼

撮影時間間隔 60 × 秒

保存

表示	説明
有効にする	FTP サーバに定期的に写真を送信する場合は、チェックを入れます。
Server Address ※	FTP サーバの IP アドレスを選択します。
撮影時間間隔	設定した秒数の間隔で FTP サーバに写真を送信します。

※FTP サーバに関する設定は、[4.5.10 FTP](#) で事前に行う必要があります。

4.2 画像設定

画質調整、映像/音声、OSD、プライバシーマスク、ROI、レンズの調整、6つのサブメニューがあります。

システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ 画像設定
画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI レンズの調整	<div data-bbox="470 488 1359 521"> 画像設定 </div> <ul style="list-style-type: none"> 画質調整 カメラの画質（明るさ、コントラスト、彩度など）に関するパラメータを設定します 映像/音声 映像、音声のIPストリームを設定します。圧縮方式、解像度、フレーム数、ビットレート等を設定します。 OSD OSD（オンスクリーンディスプレイ）に関する設定を行います プライバシーマスク プライバシー保護のためのマスク設定を行います。 ROI ROI機能はデータサイズを保ったまま注目領域だけを高画質にします screenBrightness screenBrightness_note
アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ	
イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔検出	
ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加...	
セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理	
メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	

4.2.1 画質調整

カメラの画質(輝度、コントラスト、彩度など)に関するパラメータを設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ
スケジュール選択

2M IVS Bullet test 2020/06/01


撮影設定
常時

輝度
25

コントラスト
50

色相
50

彩度
50

シャープネス
☐

50

ノイズ除去
☐

30

曇り鮮明化
☐

50

レンズ歪み補正
☐

80

オートアイリス
☒
オートアイリスレンズを使う時だけ有効に設定してください

BLC
オフ

フリッカ除去
オフ

IR照明自動調光
オフ

ホワイトバランス
自動

映像周波数
60HZ

昼/夜モード
自動

感度
中

切替遅延時間 (秒)
2

IRモード
自動

露出モード
自動

ゲインモード
自動

ゲイン制限
50

縦長撮影モード
0

画像左右反転
☐ ON ☒ OFF

自動画像反転
☐ ON ☒ OFF

初期値
取り消し

➤ カメラのパラメータ

“カメラのパラメータ”タブを開き、常時・昼間・夜のモード別に、輝度やコントラストなどを設定できます。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 画質調整

カメラのパラメータ スケジュール選択



撮影設定 常時

輝度 25

コントラスト 50

色相 50

彩度 50

シャープネス ☐ 50

ノイズ除去 ☐ 30

曇り鮮明化 ☐ 50

レンズ歪み補正 ☐ 80

オートアイリス ☒ オートアイリスレンズを使う時だけ有効に設定してください

BLC オフ

フリッカ除去 オフ

IR照明自動調光 オフ

ホワイトバランス 自動

映像周波数 60HZ

昼/夜モード 自動

感度 中

切替遅延時間 (秒) 2

IRモード 自動

露出モード 自動

ゲインモード 自動

ゲイン制限 50

縦長撮影モード 0

画像左右反転 ☐ ON ☒ OFF

自動画像反転 ☐ ON ☒ OFF

初期値 取り消し

表示	説明
撮影設定	3 パターンの撮影設定（常時、昼間専用、夜）を行います。 それぞれに適したパラメータを以下より設定します。
輝度	カメラ画像の明るさ調整します。
コントラスト	最も明るい部分と最も暗い部分の色の差を調整します。
色相	色（色相）を調整します
彩度	色の濃さを調整します。
シャープネス	シャープネスにチェックを入れ、有効にします。 画像の輪郭強調レベルを調整します。

ノイズ除去	映像に発生しているランダムノイズの除去レベルを調整します。 値を大きくするとノイズは減りますが、画像の解像度は低下します。
曇り鮮明化	雨、霧、靄、煙、ほこり等でぼやけた映像を補正します。必要に応じて適切な値を設定し、鮮明な画像を表示することができます。
レンズの歪み補正	レンズによって歪んだ画像を修正します。
オートアイリス	カメラがオートアイリスレンズの場合のみ、有効にしてください。
BLC	逆光補正機能(BLC)の設定を、以下から選択します。 オフ：逆光補正機能を無効にします。(デフォルト) HWDR：デジタル処理によるワイドダイナミック補正です。ハイライト部と暗部の両方を自動調整し、鮮明な画像に調整します。 HLC：ハイライト補正。強い光源をカバーします。 BLC：逆光補正。逆光で陰になった部分を明るく補正します。
フリッカ除去	オフ：フリッカ除去機能をオフにします。主に屋外で使用されます。 50Hz/60Hz：50Hz または 60Hz の照明条件でちらつきを低減します。
IR 照明自動調光	オフでは IR 照明はフル発光です。オンでは、カメラの近くの被写体が白飛びしないように、自動で照明を調光します。
ホワイトバランス	オート、屋内、屋外を選択した場合は、環境に応じて自動的に色温度を調整します。マニュアルを選択した場合は、赤ゲインと青ゲインを使用し、手動で色温度を設定します。
映像周波数	周波数 50Hz(PAL)と 60Hz(NTSC)が設定できます。
昼/夜モード	カラー撮影(日中)、白黒撮影(夜間)の切り替えに関する設定です。 通常は自動切換えモードです。日中モード固定、夜間モード固定が選択できます。また、昼/夜の切り替えの時間を設定することもできます。 自動切換えモードでは、切り替えの感度(明るさ)と、ディレイが設定できます。
露出モード	自動またはマニュアルから選択します。
シャッター速度	露出モードでマニュアルを選択した場合、デジタルシャッター速度を調節できます。
ゲインモード	自動またはマニュアルから選択します。
ゲイン制限	ゲイン値が高いほど、画像が明るくなり、画像のノイズが多くなります。
縦長撮影モード	カメラ画像を回転させます。0/90/180/270(時計回り)から選択します。

画像左右反転	カメラ画像を左右反転させます。
自動画像反転	カメラ画像を上下反転させます。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、昼間と夜の時間帯を指定します。

カメラのパラメータ スケジュール選択

スケジュール選択 設定された時間で実行 ▼

時間範囲

0:00 4:00 8:00 12:00 16:00 20:00 24:00

■ 昼間専用 ■ 夜


保存

スケジュールの設定方法

◆ 24 時間連続

“24 時間連続”を選択した場合、撮影設定から常時、昼間専用、夜、自動から選択します。

◆ 設定された時間で実行

“設定された時間で実行”を選択した場合、タイムライン上の“”をドラッグして昼間と夜の時間帯を設定します。ブルーが昼間時間、グレーが夜時間を表します。

カメラのパラメータの昼間/夜モードで「定時」が設定されている場合、定時のスケジュールに従って自動的に昼間と夜に切り替わります。

4.2.2 ビデオ/音声

映像、音声の IP ストリーム(圧縮方式や解像度、フレーム数、ビットレートなど)を設定します。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ 映像/音声

映像 音声

Index	ストリーム名	解像度	フレームレート	ビットレートタイプ	ビットレート (Kbps)	ビデオ品質	Iフレーム間隔	ビデオ圧縮	プロフィール
1	第1ストリーム	1920x1080	30	VBR	2048	より高い	60	H265	High Profile
2	第2ストリーム	640x480	15	VBR	512	より高い	60	H265	High Profile
3	第3ストリーム	704x480	30	CBR	512	より高い	60	H265	High Profile

写真のストリーム 第2ストリーム サイズ (640x480)

☐ ビデオエンコードスライス分割

☐ ウォーターマーク (H264, H265) ウォーターマーク文字

保存

➤ 映像

“映像”タブを開き、第 1/第 2/第 3 ストリームの解像度やフレームレートなどをそれぞれ設定します。

表示	説明
解像度	カメラ画像の表示解像度を設定します。
フレームレート	フレームレートを設定します。 フレームレートが高いほど、映像は滑らかになります。
ビットレートタイプ	VBR または CBR から選択します。 VBR : 品質基準 / CBR : ビットレート基準
ビットレート (Kbps)	CBR を選択した場合、ビットレート設定ができます。 ビットレートが高いほど、画質が向上します。
ビデオ品質	VBR を選択した場合、ビデオ品質設定ができます。 品質が高いほど、より多くのビットレートが必要になります。
I-フレーム間隔	I-フレームの送信間隔を設定します。
ビデオ圧縮	H.264/H.265/JPEG からビデオの圧縮方式を設定します。
プロフィール	H.264 を選択した場合、H.264 の画質を設定します。
写真のストリーム	イベント発生時に保存、送信する、写真のサイズ(解像度)を設定します。
ビデオエンコードスライス分割	この機能を有効にすると、低性能の PC を使用しても滑らかな画像を得ることができます。

ウォーターマーク	ウォーターマーク機能を有効にし、ウォーターマーク符号に透かしテキストを入力します。検索画面で、ローカルに記録されたビデオを再生する時にウォーターマークを表示できます。
----------	---

➤ 音声

“音声”タブを開き、第 1/第 2/第 3 ストリームの解像度やフレームレートなどをそれぞれ設定します。

映像	音声		
<input checked="" type="checkbox"/> 有効			
音声形式	<div>G711A</div>	音声タイプ	<div>LIN</div>
<div>保存</div>			

表示	説明
有効	音声出力を有効にする場合はチェックを入れます。
音声形式	G711A または G711U から選択します。
音声タイプ	内蔵 MIC と LIN 入力を選択できます。（内蔵 MIC は SD400 のみ） SD400 では MIC 入力と音声出力のレベルが調整可能です。

4.2.3 OSD

OSD（On Screen Display）に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ OSD



日付形式 MM-DD-YYYY

☒ 日付時刻を画面表示する

デバイス名 2Mpix_NEW_IPC

☒ デバイス名を画面表示する

☐ 追加OSD1 ☐ 1行追加

☐ 追加OSD2 ☐ 1行追加

☐ 追加OSD3 ☐ 1行追加

☐ 追加OSD4 ☐ 1行追加

保存

表示	説明
日付形式	<p>「日付時刻を画面表示する」にチェックを入れ、有効にします。</p> <p>年月日の表示形式を選択すると、ディスプレイ上にタイムスタンプが表示されるので、ドラッグして位置を変更します。(時間は最後尾に表示)</p> <p>《 YYYY : 年、MM : 月、DD : 日 を表します 》</p>
デバイス名	<p>「デバイス名を画面表示する」にチェックを入れ、有効にします。</p> <p>デバイス名を入力すると、ディスプレイ上にデバイス名が表示されるので、ドラッグして位置を変更します。</p> <p>ここで変更したデバイス名は、4.1.1 基本情報にも反映されます。</p>
追加 OSD	<p>チェックを入れ、追加 OSD または写真オーバーレイを有効にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 追加 OSD を選択した場合、文字列を入力するとディスプレイ上に表示されるので、ドラッグして位置を変更します。 「1 行追加」にチェックを入れると、文字列をもう 1 行追加できます。 写真オーバーレイを選択した場合、写真を表示することができます。 <p>保存先変更から写真を指定し、アップロードをクリックします。</p>

注意
OSD に使用する文字は英数字を使用してください。
日本語を入力すると文字バケが発生します。

4.2.4 プライバシーマスク

プライバシー保護のためのマスク設定を行います。プライバシーマスクは最大 4 か所に設定できます。



プライバシーマスクの設定方法

- ① 有効にチェックを入れ、プライバシーマスクを有効にします。

有効 ☒

- ② エリアを描く をクリックし、ディスプレイ上でマウスをドラッグしてマスクを描画します。



- ③ 描画を終了 をクリックすると、マスクの描画を停止します。

- ④ クリア をクリックすると、マスクをすべて削除します。

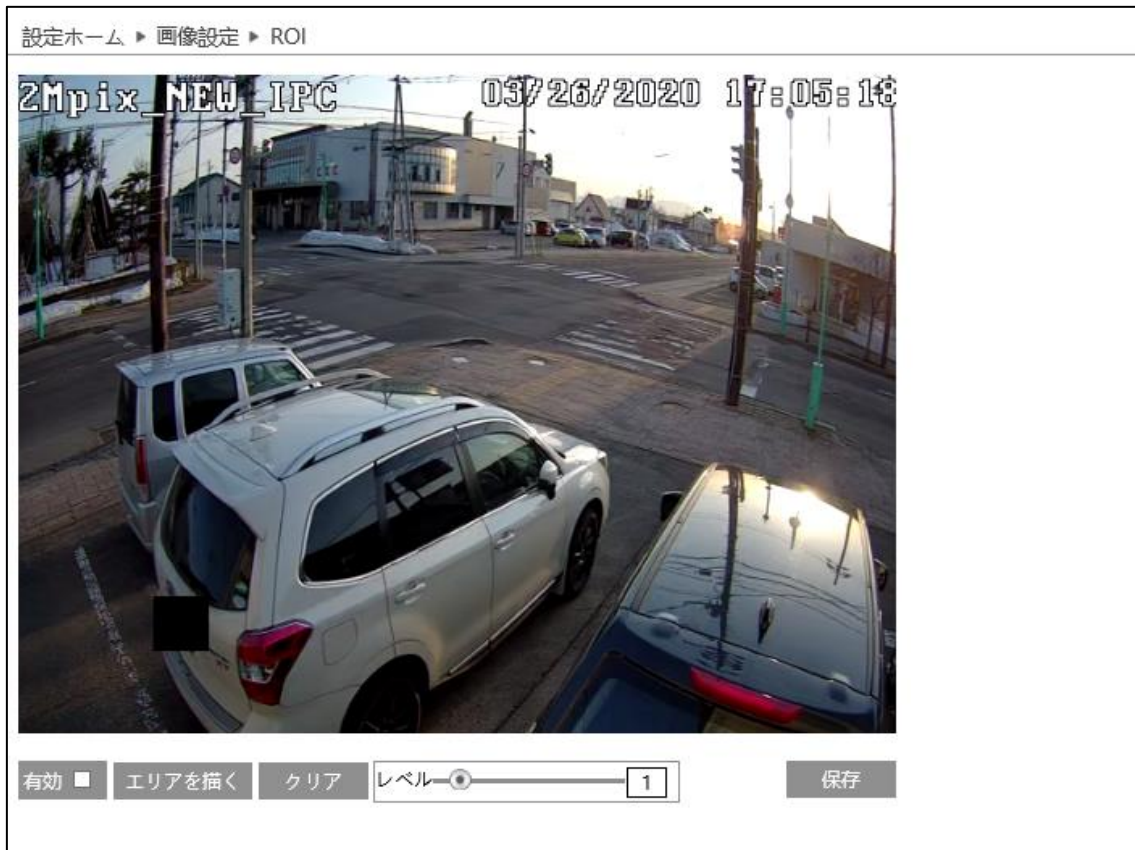
- ⑤ 保存 をクリックし、プライバシーマスクを保存します。



4.2.5 ROI

ROI (Region of Interest) を設定します。

ROI 機能はデータサイズを保ったまま、指定領域だけ高画質になります。



ROI (Region of Interest) の設定方法

- ① 有効にチェックを入れ、ROI を有効にします。

有効 ☒

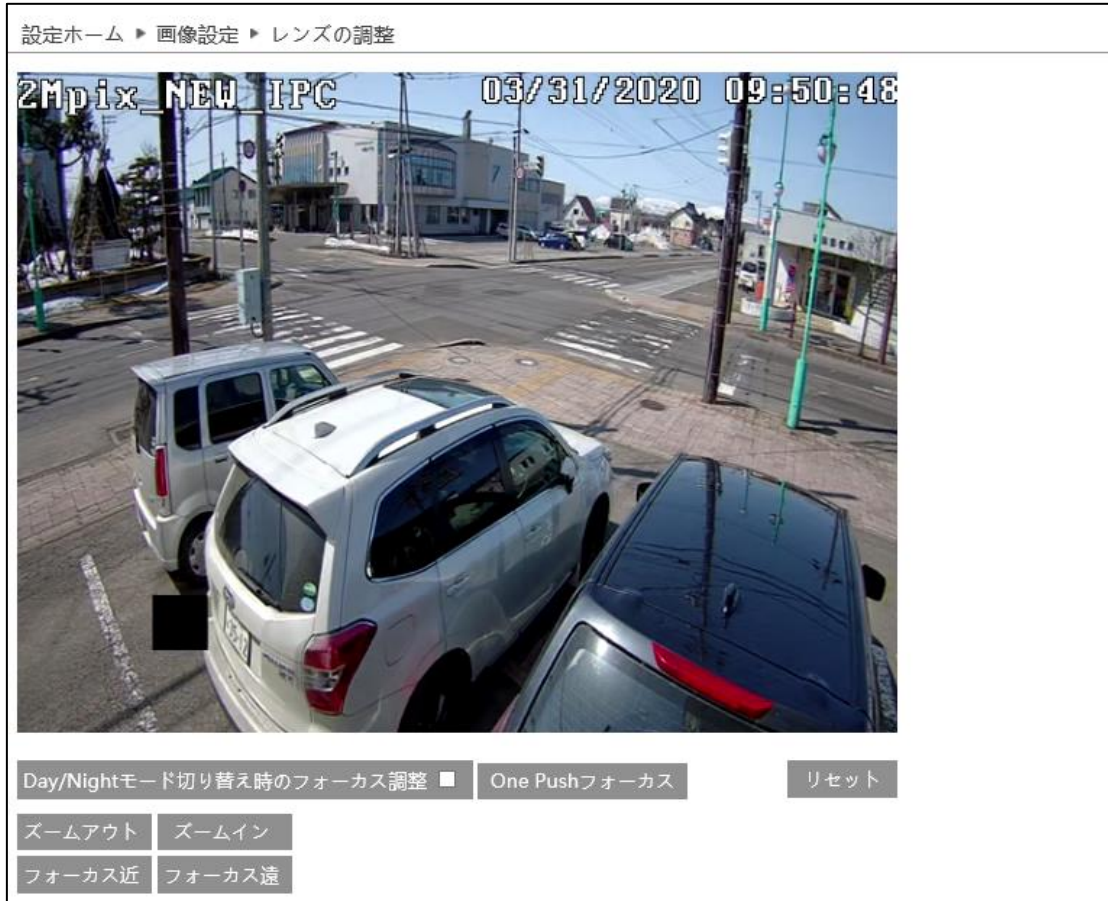
- ② エリアを描く をクリックし、ディスプレイ上でマウスをドラッグして ROI 領域(赤枠)を描画します。



- ③ 描画を終了 をクリックすると、ROI 領域の描画を停止します。
- ④ クリア をクリックすると、ROI 領域がすべて削除されます。
- ⑤ レベル の ☐ をドラッグしてレベルを調整します。
- ⑥ 保存 をクリックし、ROI 領域を保存します。

4.2.6 レンズの調整

レンズの調整を行います。



Day/Nightモード切り替え時のフォーカス調整 ☐

昼間モードと夜モードが切り替わる時にフォーカスの調整を行う場合は、チェックを入れます。

One Pushフォーカス

「One Push フォーカス」をクリックすると、ワンクリックでフォーカスを合わせることができます。

ズームアウト ズームイン

それぞれクリックして、画像のズームアウトとズームインの調整を行います。

フォーカス近 フォーカス遠


それぞれクリックしてフォーカスを調整し、ピントを合わせます。

4.2.7 screenBrightness

この設定は未サポートのためご使用になれません。

設定ホーム ▶ 画像設定 ▶ screenBrightness

brightnessConfig

screenBrightness ☐ 

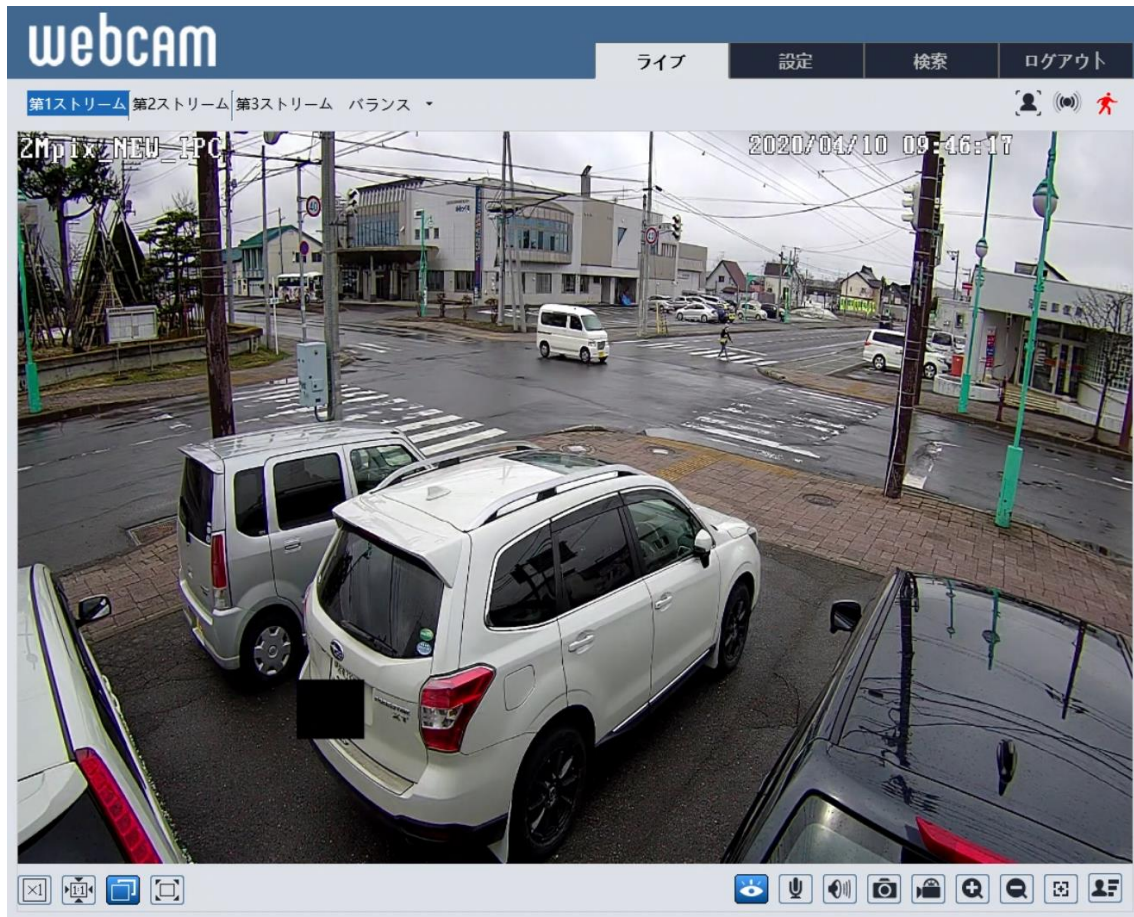
4.3 アラーム設定

モーション検出、異常、アラーム入力、アラーム接点出力、アラームサーバ、5つのサブメニューがあります。

 システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ	設定ホーム ▶ アラーム設定
 画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI レンズの調整	<div data-bbox="507 499 1359 533" style="background-color: #cccccc; padding: 2px;">アラーム設定</div> <ul style="list-style-type: none"> ● モーション検出 動体検出の検出エリアの設定や、感度、連携動作、動作スケジュールを設定します。 ● 異常 異常アラームの関連パラメータを設定し、異常アラームに連動させる動作も設定します。 ● アラーム入力 アラーム接点入力の設定と、連携動作、および動作スケジュールを設定します。 ● アラーム接点出力 アラーム接点出力に関する設定を行います。 ● アラームサーバ アラームサーバに関する設定を行います。
 アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ	
 イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出す ターゲットカウント エリア侵入検知 顔検出	
 ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加...	
 セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理	
 メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ	

4.3.1 モーション検出

モーション検出のエリア設定や感度、連携アラーム、スケジュールなどを設定します。



➤ アラーム設定

“アラーム設定”タブを開き、モーションベースのアラームを設定します。

アラーム設定

エリアと感度

スケジュール選択

☒ 有効

アラーム保持時間

3秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存




☐ SDカード録画

☐ Eメールを送信

☒ FTPファイル転送

サーバアドレス

保存

表示	説明
有効	モーション検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 モーションを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
アラーム保持時間	モーションアラームの保持時間を設定します。 保持している間は、ライブ画面上でアイコン  が赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	モーション検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

連携するアラーム出力

◆ アラーム接点出力

「アラーム接点出力」にチェックを入れると、カメラに接続している外部リレー出力がトリガされます。

アラーム出力に関する設定は、[4.3.2. アラーム接点出力](#)で行う必要があります。

◆ 写真を SD カードに保存

「写真を SD カードに保存」にチェックを入れると、検出時に画像をキャプチャし SD カードに保存されます。


SD カードへの画像保存に関する設定は、[4.1.4. ストレージの「写真撮影」](#)で行う必要があります。

SD カードへのスナップショット保存例

[例 1] アラーム保持時間：20 秒、撮影時間間隔：5 秒、撮影枚数：3 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、その後 5 秒間隔で 1 枚ずつ撮影され、計 3 枚(最大)のスナップショットが保存されます。

アラーム保持時間	20秒		
撮影時間間隔	5	秒	
撮影枚数	3		




	時間	タイプ
1	08:23:49	■
2	08:23:44	■
3	08:23:39	■

※ここでは、イベント発生時、発生から 5 秒後、10 秒後のスナップショットを保存。

[例 2] アラーム保持時間：3 秒、撮影時間間隔：5 秒、撮影枚数：2 枚の場合

→ イベント発生時に 1 枚、3 秒でアラーム保持時間が終了したため、5 秒後のスナップショットは撮影されず、発生時の 1 枚のみ保存されます。

アラーム保持時間	3秒		
撮影時間間隔	5	秒	
撮影枚数	2		



	時間	タイプ
1	08:31:47	■

※アラーム保持時間が終了した時点で、それ以降のスナップショットは保存されません。

◆ SD カード録画

「SD カード録画」にチェックを入れると、検出時のビデオが SD カードに保存されます。

SD カードへの録画に関する設定は、[4.1.4. ストレージ「録画」](#)で行う必要があります。

◆ E メールを送信

「E メールを送信」にチェックを入れると、E メールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択し、メールの件名と内容を入力します。検出時の写真を添付する場合は「写真添付」にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> Eメールを送信	
メールの送信先	<input type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@hytec.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@yahoo.co.jp	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付
<input checked="" type="checkbox"/> [redacted]@gmail.com	<input type="checkbox"/> 写真添付
メールの件名	<input type="text"/>
メールの内容	<input type="text"/>

E メール通知の送受信に関する設定は、[4.5.9. Email](#) で事前に行う必要があります。

◆ FTP ファイル転送

「FTP ファイル」にチェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択し、検出時の写真を添付する場合は「写真添付」にチェックを入れます。

<input checked="" type="checkbox"/> FTPファイル転送	
サーバアドレス	
<input checked="" type="checkbox"/> 172.16.2.3	<input checked="" type="checkbox"/> 写真添付

FTP サーバに関する設定は、[4.5.10. FTP](#) で事前に行う必要があります。

ログファイルとスナップショットは、《 指定フォルダ > MAC アドレス > イベント名 > 日付 > 時間 》に保存されます。



(1) 写真添付なしの場合

イベント発生時に、ログファイルが転送されます。

(2) 写真添付ありの場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム保持時間(5 秒)が経過後、スナップショット 1 枚が転送されます。

名前	日付時刻	種類	サイズ
MOTION_20200221103150.txt	2020/04/23 9:33	テキストドキュメント	1 KB
MOTION_20200221103150_163.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	47 KB
MOTION_20200221103155_97.jpg	2020/04/23 9:33	JPG ファイル	48 KB

(3) イベント発生時間がアラーム保持時間を超える場合

イベント発生時に、ログファイルとスナップショット 1 枚が転送されます。アラーム保持時間を経過するとにスナップショット 1 枚が転送されます。

[例] イベント発生時間：25 秒、アラーム保持時間：10 秒の場合

イベント発生時に「ログファイル」と「スナップショット 1 枚」、

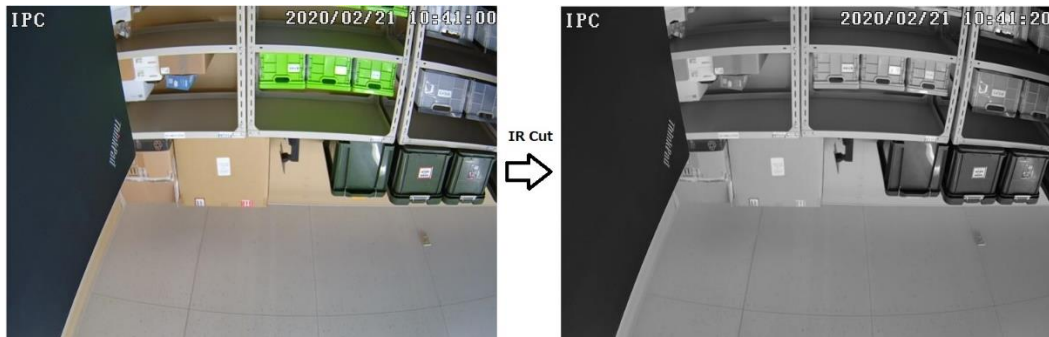
1・2 回目のアラーム保持時間経過後に「スナップショット 1 枚ずつ(計 2 枚)」、

3 回目のアラームの途中でイベントが終了し、保持時間経過後に「最後のスナップショット 1 枚」

名前	日付時刻	種類	サイズ
SENSOR1_20200221111800.txt	2020/04/23 10:20	テキストドキュメント	1 KB
SENSOR1_20200221111800_127.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	34 KB
SENSOR1_20200221111810_195.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	30 KB
SENSOR1_20200221111820_120.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	28 KB
SENSOR1_20200221111830_140.jpg	2020/04/23 10:20	JPG ファイル	29 KB

◆ **IR Cut**

「IR Cut」にチェックを入れると、アラーム入力時に IR Cut フィルターが連動して切り替わります。



➤ エリアと感度

“エリアと感度”タブを開き、モーション検出エリアと感度を設定します。



モーション検出エリアの設定

- I. **エリアを描く** をクリックし、“追加”を選択してディスプレイ上でマウスをドラッグすると検出エリアを描画できます。“消去”を選択して検出エリア上でマウスをドラッグすると、検出エリアを一部分消去できます。



- II. **描画を終了** をクリックすると、検出エリアの描画を終了します。
- III. **全領域を選択** をクリックすると、全領域が検出エリアとなります。**すべてクリア** をクリックすると、検出エリアがすべて消去されます。**反転領域反転** をクリックすると、検出エリアと未検出エリアが反転します。
- IV. 感度を設定します。数値が大きいほど感度は高くなります。

感度 低い 高い 4
- V. **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、モーション検出のスケジュールを設定します。

アラーム設定 エリアと感度 **スケジュール選択**

○ 消去 ● 追加

一週間の日程

日 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

火 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

水 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

木 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

金 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

土 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

休日設定とスケジュール

日付 03-31 追加 削除

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24
00:00-24:00 手動入力

保存

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：モーション検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：モーション検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.3.2 異常

異常アラームの関連パラメータ、連動アラームを設定します。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ 異常

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました LANケーブル接続不良

☐ 有効

保存

➤ SD カードフル

“SD カードフル”タブを開き、SD カードの容量が一杯になったときのアラームを設定します。

SDカードフル SDカードエラー ipアドレスの競合が検出されました LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム保持時間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	SD カードの容量が一杯であると通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。
連携するアラーム出力	SD カードフルでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

➤ SD カードエラー

“SD カードエラー”タブを開き、SD カードへの書き込みにエラーが生じたときのアラームを設定します。

SDカードフル

SDカードエラー

ipアドレスの競合が検出されました

LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム保持時間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	SD カードへの書き込みにエラーがあること通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。
連携するアラーム出力	SD カードエラーでは、以下の 3 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

➤ IP アドレスの競合検出

“ip アドレスの競合が検出されました”タブを開きます。

IP アドレスが競合(カメラが他のデバイスと同じ IP アドレスを使用)しているときのアラームを設定します。

SDカードフル

SDカードエラー

ipアドレスの競合が検出されました

LANケーブル接続不良

☒ 有効

アラーム保持時間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	IP アドレスの競合を検出されたときに通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。
連携するアラーム出力	IP アドレスの競合検出では、アラーム接点出力を設定できます。 ※アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

➤ LAN ケーブル接続不良

“LAN ケーブル接続不良”タブを開き、カメラの切断を検出したときのアラームを設定します。

SDカードフルSDカードエラーipアドレスの競合が検出されましたLANケーブル接続不良

☒有効

アラーム保持時間20秒

連携するアラーム出力

☐アラーム接点出力

保存

表示	説明
有効	カメラの切断を検出したときに通知する場合は、チェックを入れます。
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。
連携するアラーム出力	LAN ケーブルの接続不良では、アラーム接点出力を設定できます。 ※アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

4.3.3 アラーム入力

アラーム入力の設定を行います。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム入力

アラーム設定

スケジュール選択

☒ 有効

接点形式

N.O. ▼

アラーム保持時間

30秒 ▼

センサー名

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送



☐ IR Cut

保存

➤ アラーム設定

“アラーム設定”タブを開き、アラーム入力によるアラームを設定します。

アラーム設定		スケジュール選択	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効			
接点形式	N.O. ▼		
アラーム保持時間	30秒 ▼		
センサー名	Sensor_TEST		
連携するアラーム出力			
<input type="checkbox"/> アラーム接点出力			
<input type="checkbox"/> 写真をSDカードに保存			
<input type="checkbox"/> SDカード録画			
<input type="checkbox"/> Eメールを送信			
<input type="checkbox"/> FTPファイル転送			
<input type="checkbox"/> IR Cut			
保存			

表示	説明
有効	アラーム入力を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 アラームが入力されると、アイコン  は赤く点滅します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点です。通常 = OFF / N.C. : B 接点です。通常 = ON
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。 保持している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
センサー名	アラーム入力のセンサー名を設定します。
連携するアラーム出力	モーション検出では、以下の 6 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送、IR Cut ※各アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、センサーアラームのスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：アラーム入力を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：アラーム入力を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、「追加」をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから「削除」をクリックします。

4.3.4 アラーム接点出力

アラーム接点出力の設定を行います。

設定ホーム ▶ アラーム設定 ▶ アラーム接点出力

アラーム出力モード

アラーム連動

▼

アラーム出力名

alarmOut1

アラーム保持時間

30秒

▼

接点形式

N.C.

▼

保存

➤ アラーム連動

イベントの検出(モーション検出やラインクロスなど)に連動して、アラームを出力します。
アラーム出力を行う場合、各イベントの設定で「アラーム接点出力」を有効にする必要があります。

アラーム出力モード

アラーム連動

▼

アラーム出力名

alarmOut1

アラーム保持時間

30秒

▼

接点形式

N.C.

▼

保存

表示	説明
アラーム出力モード	アラーム連動を選択します。
アラーム出力名	アラーム出力名を設定します。
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。 イベントのアラーム保持時間が終了した後の、アラーム出力によるアラーム保持時間を設定します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点です。通常 = ON / N.C. : B 接点です。通常 = OFF

➤ 手動操作

手動でアラームの ON/OFF を切り替えます。

アラーム出力モード	<input type="text" value="手動操作"/>
接点形式	<input type="text" value="N.C."/>
手動操作	<input type="button" value="ON"/> <input type="button" value="OFF"/>
<input type="button" value="保存"/>	

表示	説明
アラーム出力モード	手動操作を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点です。通常 = ON / N.C. : B 接点です。通常 = OFF
手動操作	アラームの ON または OFF を手動で切り替えます。

➤ 昼/夜の切り替えとの連動

カメラが昼間モードまたは夜モードに切り替わったときに、アラームを出力します。

アラーム出力モード	<input type="text" value="昼/夜の切り替えとの連動"/>
接点形式	<input type="text" value="N.C."/>
昼間専用	<input type="text" value="OFF"/>
夜	<input type="text" value="OFF"/>
<input type="button" value="保存"/>	

表示	説明
アラーム出力モード	昼/夜の切り替えとの連動を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点です。通常 = ON / N.C. : B 接点です。通常 = OFF
昼間専用	昼間モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。
夜	夜モードの時に、アラームを ON または OFF にするのか選択します。

➤ 設定された時間で実行

指定した時間にアラームを ON にします。

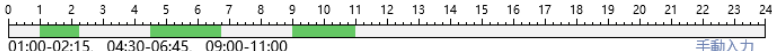
アラーム出力モード 設定された時間で実行

接点形式 N.C.

時間範囲 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 ○ 消去 ● 追加

手動入力

保存

表示	説明
アラーム出力モード	設定された時間で実行を選択します。
接点形式	アラームタイプを選択します。 N.O. : A 接点です。通常 = ON / N.C. : B 接点です。通常 = OFF
時間範囲	<p>緑ラインのときに、アラームが ON になります。</p> <p>消去(OFF)/追加(ON)を選択してから、手動入力をクリックして時間を指定するか、マウスをドラッグして時間を設定します。</p> 

4.3.5 アラームサーバ

アラームサーバを設定します。アラームが発生すると、アラームイベントをアラームサーバに転送します。

設定ホーム ▶ アラーム ▶ アラームサーバー	
サーバーアドレス	<input type="text"/>
ポート	<input type="text" value="0"/>
ハートビート	<input type="text" value="無効にする"/> ▼
ハートビート間隔	<input type="text" value="30"/> 秒
<input type="button" value="OK"/>	

アラームサーバ(NVMS-2.0 など)のアドレスとポート番号を設定します。

ハートビートとは、カメラが正常に動作していることを通知すること。また、通知の一定間隔を設定します。

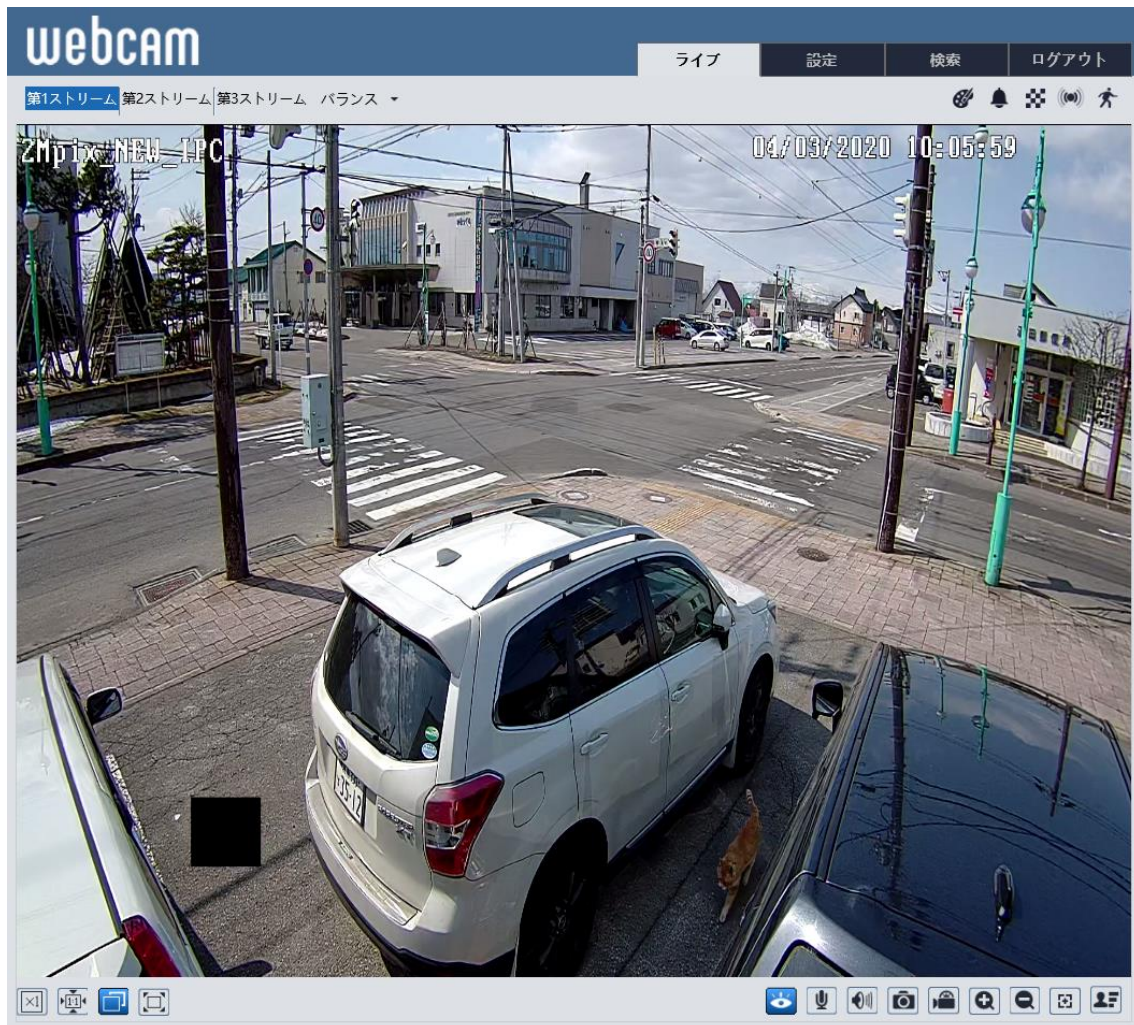
4.4 イベント設定

妨害検知、ラインクロス、領域に入る、領域を出る、ターゲットカウント、エリア侵入検知、顔検出、7つのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 </div> <div> 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ </div>	<div> 設定ホーム ▶ イベント設定 </div>
<div>  画像設定 </div> <div> 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI レンズの調整 </div>	<div> イベント設定 </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> 妨害検知 <div>カメラへの妨害を検知します (向きを変える、ピンボケ、カメラを隠す等)</div> ラインクロス <div>指定したラインを指定方向に超えたことを検知します</div> 領域に入る <div>指定されたエリアに進入すると車両のフロー情報を計算します。</div> 領域を出る <div>指定されたエリアを出ると車両のフロー情報を計算します。</div> ターゲットカウント <div>ターゲットカウントは、ラインを横切る人と車両の数を数えます。</div> エリア侵入検知 <div>指定した領域に外部から侵入したことを検知します</div> 顔検出 <div>映像の中の顔を検出して追跡します。</div> </div>
<div>  アラーム設定 </div> <div> モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div>	
<div>  イベント設定 </div> <div> 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔検出 </div>	
<div>  ネットワーク設定 </div> <div> TCP/IP ポート 更に追加... </div>	
<div>  セキュリティ設定 </div> <div> ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティー管理 </div>	
<div>  メンテナンス </div> <div> バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ </div>	

4.4.1 妨害検知




カメラへの妨害を検知します。（向きが変わる、ピンボケ、カメラを隠すなど）



➤ 検出設定

“検出設定”タブを開き、妨害検知によるアラームを設定します。

検出設定	感度
<input checked="" type="checkbox"/> 急激なシーン変化検出	
<input checked="" type="checkbox"/> 不鮮明画像（ピンボケ）検出	
<input checked="" type="checkbox"/> 映像妨害（隠す、塞ぐ）検出	
アラーム保持時間	20秒 ▼
連携するアラーム出力	
<input type="checkbox"/> アラーム接点出力	
<input type="checkbox"/> 写真をSDカードに保存	
<input type="checkbox"/> SDカード録画	
<input type="checkbox"/> Eメールを送信	
<input type="checkbox"/> FTPファイル転送	
保存	

表示	説明
急激なシーン変化検出	急激なシーン変化検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラのシーン変更などを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
不鮮明画像検出 （ピンボケ）	不鮮明画像検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ピンボケなどを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
映像妨害検出 （隠す、塞ぐ）	アラーム入力を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 カメラが隠されるなどを検出すると、アイコンは赤く点滅します。
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。 保持している間は、ライブ画面上で各アイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	妨害検知では、以下の 5 つのアラームを設定できます。（共通） アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

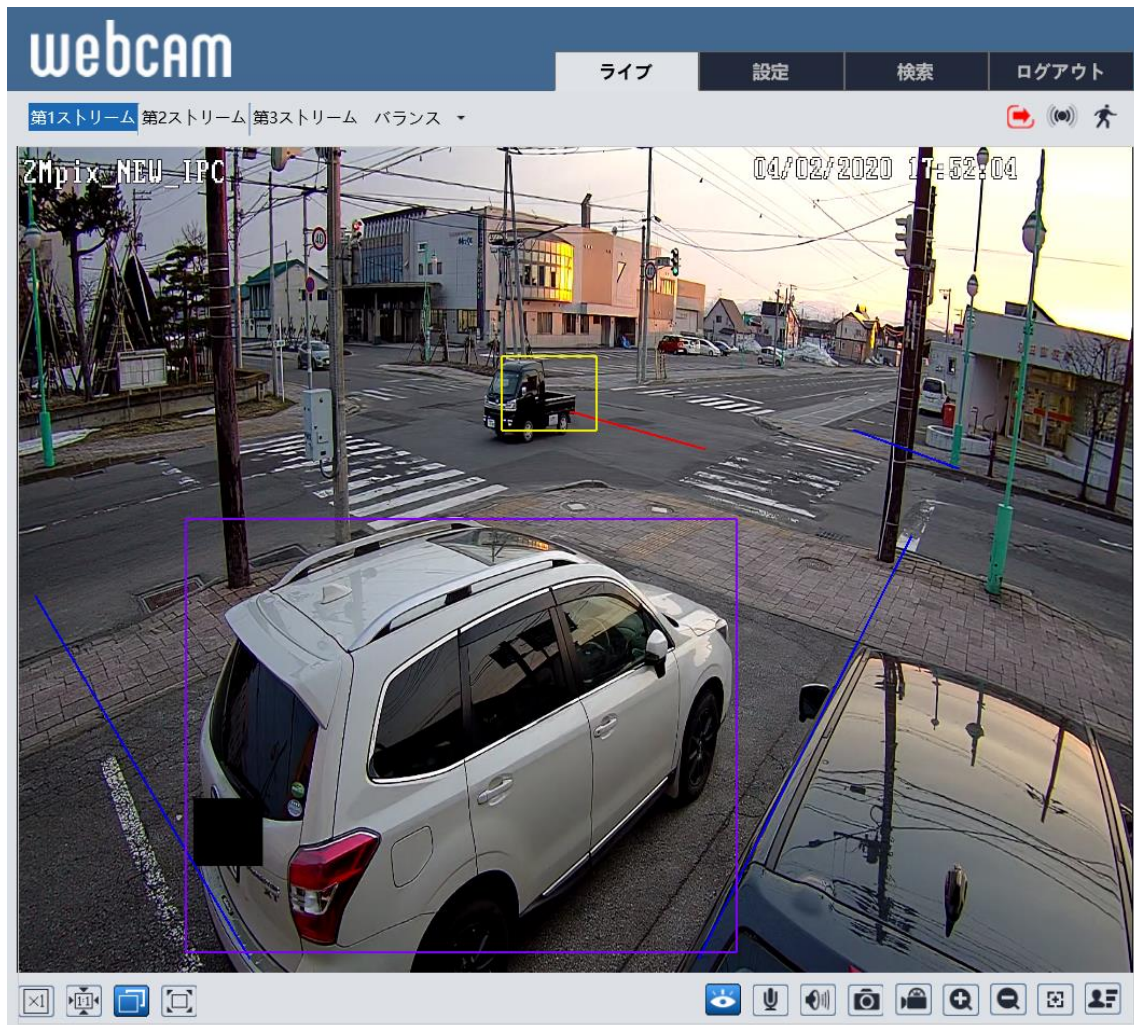
➤ 感度

“感度”タブを開き、妨害検知(急激なシーン変化検出、不鮮明画像検出、映像妨害検出)の感度を設定します。値が大きいほど感度は高くなります。

検出設定	感度
感度	<div><div></div><div></div></div> 50
保存	

4.4.2 ラインクロス

指定したラインを指定方向に越えたことを検知します。



➤ 検出設定

“検出設定”タブを開き、ラインクロスによるアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ ラインクロス

検出設定

エリア

スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☒ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間

感度

50

☒ 車両

感度

50

☒ オートバイ/自転車

感度

50

アラーム保持時間

10秒



▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存☐ SDカード録画☐ Eメールを送信☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	ラインクロスを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ラインクロスを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	検出時のパノラマ写真(全体)をキャプチャします。 パノラマ写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜き保存	検出したターゲットを切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	ラインクロスを検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 またライブ画面上では、以下のように表示されます。

	<u>通常時のライン(枠)色</u> 人間：緑 / 車両：紫 / オートバイ/自転車：水色 / ライン：青 <u>検出時のライン(枠)色</u> ターゲット：黄 / ライン：赤
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。 保持している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	リンクロスでは、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

※1 ローカル PC に保存する場合は、[4.1.3. ローカル設定](#)の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2 SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

“エリア”タブを開き、ラインクロスを検出ラインを設定します。

検出設定		エリア	スケジュール選択
			検出ライン <input type="text" value="1"/>
			検出方向 <input type="text" value="A<->B"/>
<div> <div>エリアを描く</div> <div>クリア</div> </div>			<div>保存</div>

ラインクロスのライン設定

- ① 検出ラインを選択し、そのラインに対する A エリアと B エリアの検出方向を設定します。検出ラインは最大 4 パターン設定できます。
- ②

エリアを描く

 をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを作成します。



- ③

描画を終了

 をクリックすると、検出ラインの描画を停止します。
- ④

クリア

 をクリックすると、検出ラインが削除されます
- ⑤

保存

 をクリックし、検出ラインを保存します。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、ラインクロス検出のスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：ラインクロス検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：ラインクロス検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

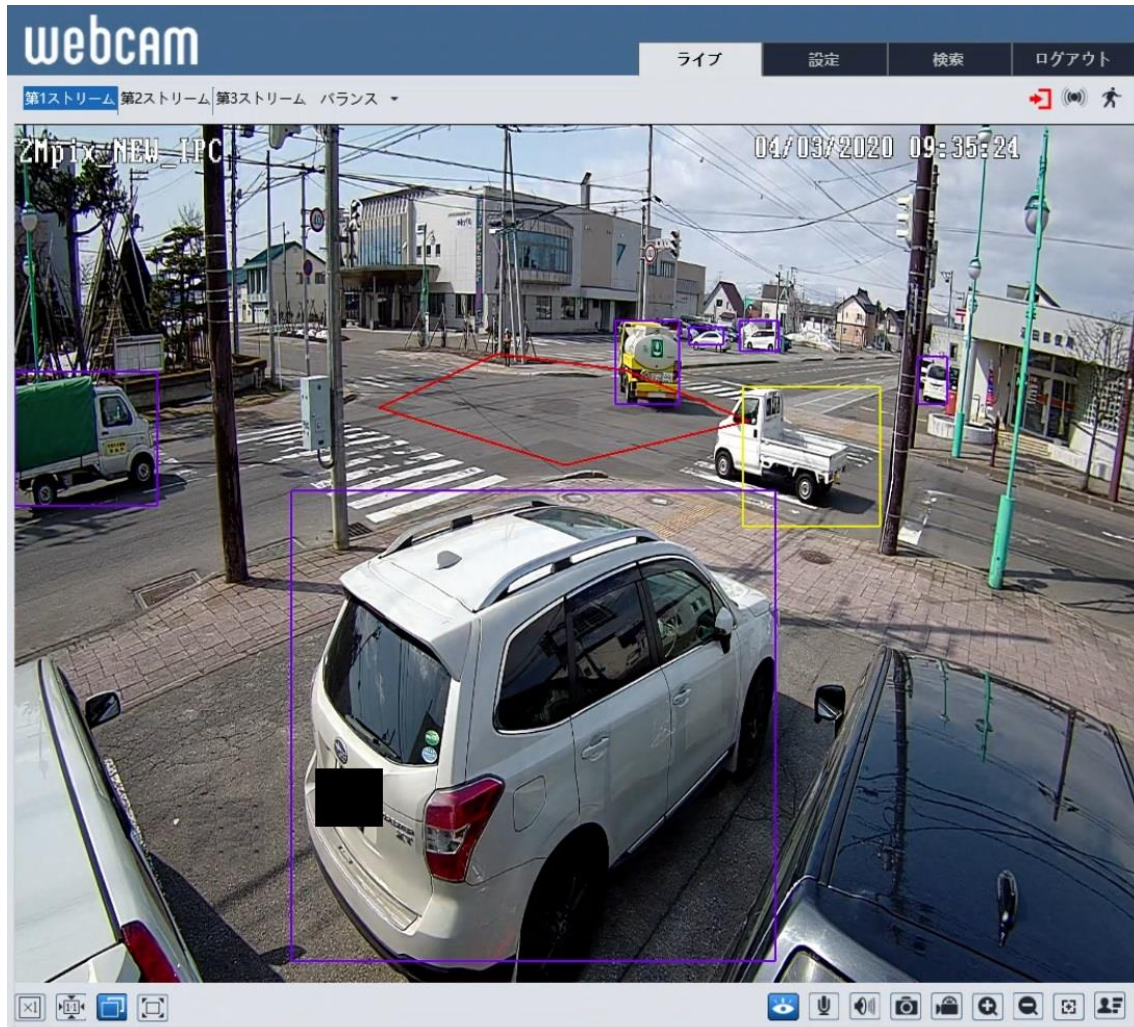
日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.4.3 領域に入る

指定したエリアに侵入する人や車両を検出します。



➤ 検出設定

“検出設定”タブを開き、指定領域に入るときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 領域に入る

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☐ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間 感度  50

☒ 車両 感度  50

☒ オートバイ/自転車 感度  50

アラーム保持時間 20秒 ▼

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	領域侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	検出時のパノラマ写真(全体)をキャプチャします。 パノラマ写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜き保存	検出したターゲットを切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	領域侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 またライブ画面上では、以下のように表示されます。

	<u>通常時の枠の色</u> 人間：緑 / 車両：紫 / オートバイ/自転車：水色 / エリア：青 <u>検出時の枠の色</u> ターゲット：黄 / エリア：赤
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。 保持している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	領域侵入による検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

※1 ローカル PC に保存する場合は、[4.1.3. ローカル設定](#)の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > AOI > 日付 》に保存されます。



※2 SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

“エリア”タブを開き、検出エリアを設定します。



領域に入る検出のエリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つのエリアを設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上に赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ検出エリアを作成します。

- ③ **ドローを停止する** をクリックすると、検出エリアの描画を停止します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、検出スケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

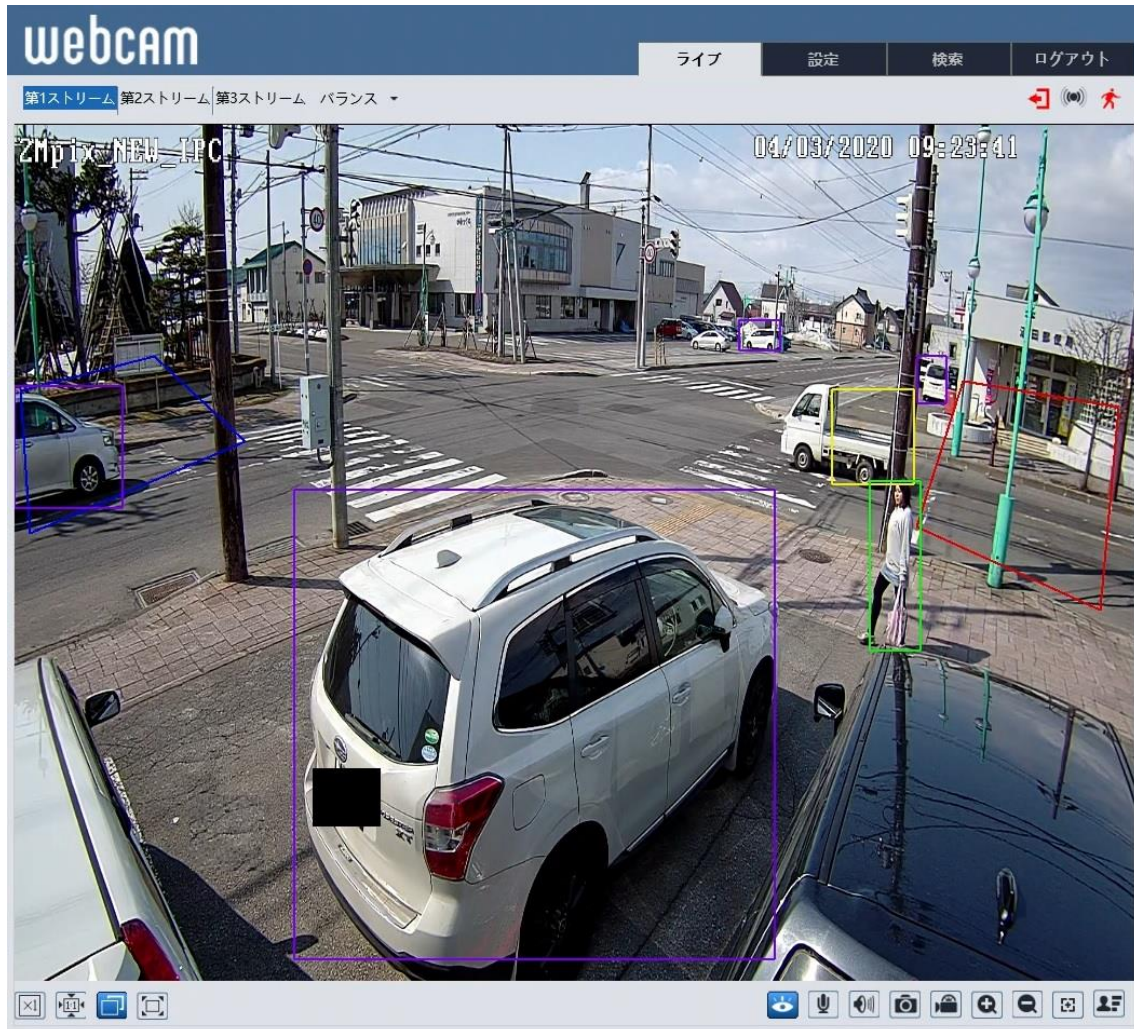
日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.4.4 領域を出る

指定したエリアから出る人や車両を検出します。



➤ 検出設定

“検出設定”タブを開き、指定領域から出るときのアラームを設定します。

検出設定

エリア

スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☒ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間

感度

50

☒ 車両

感度

50

☒ オートバイ/自転車

感度

50

アラーム保持時間



20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力

☐ 写真をSDカードに保存☐ SDカード録画☐ Eメールを送信☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	領域退出による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 領域から出たことを検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	検出時のパノラマ写真(全体)をキャプチャします。 パノラマ写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜き保存	検出したターゲットを切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	領域退出を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 またライブ画面上では、以下のように表示されます。

	<u>通常時の枠の色</u> 人間：緑 / 車両：紫 / オートバイ/自転車：水色 / エリア：青 <u>検出時の枠の色</u> ターゲット：黄 / エリア：赤
アラーム保持時間	アラームの保持時間を設定します。 保持している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。
連携するアラーム出力	領域退出による検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。 アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送 ※各アラームの説明は、 連携するアラーム出力 を参照してください。

※1 ローカル PC に保存する場合は、[4.1.3. ローカル設定](#)の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > AOI > 日付 》に保存されます。



※2 SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

“エリア”タブを開き、検出エリアを設定します。



領域を出る検出のエリア設定

- ① 検出領域を選択します。最大 4 つのエリアを設定できます。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上に赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ検出エリアを作成します。

- ③ **ドローを停止する** をクリックすると、検出エリアの描画を停止します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、検出スケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

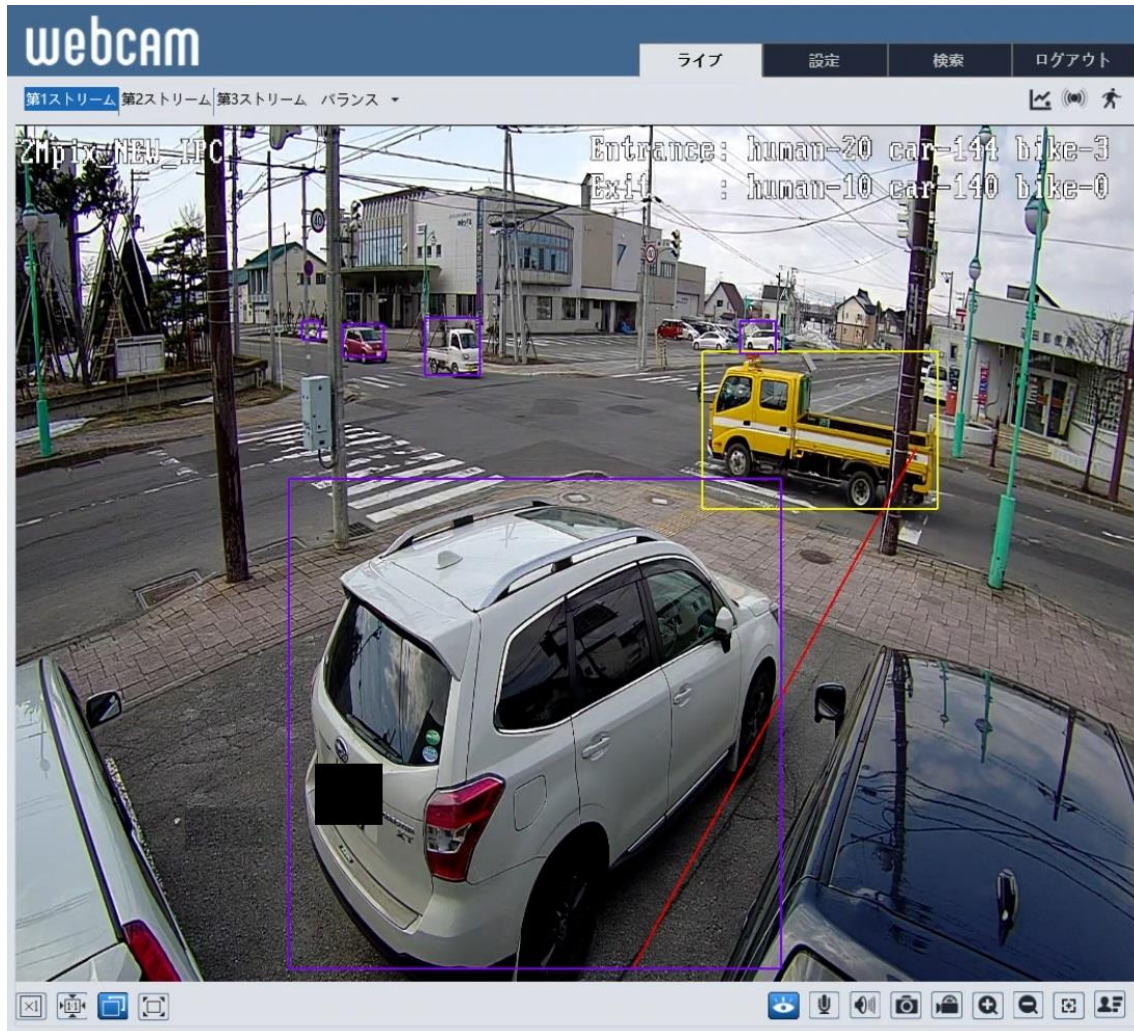
日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.4.5 ターゲットカウント

ラインを通過する人や車両の数をカウントします。



➤ 検出設定

“検出設定”タブを開き、指定ラインの通過による人や車両カウントの設定を行います。

検出設定
エリア
スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☒ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間

感度

50

☒ 車両

感度

50

☒ オートバイ/自転車

感度

50

アラーム保持時間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力



☐ 写真をSDカードに保存


☐ SDカード録画

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	ラインの通過によるカウントを有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 ライン通過を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	検出時のパノラマ写真(全体)をキャプチャします。 パノラマ写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜き保存	検出したターゲットを切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	ラインの通過を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 またライブ画面上では、以下のように表示されます。

	<u>通常時の枠の色</u> 人間：緑 / 車両：紫 / オートバイ/自転車：水色 / エリア：青 <u>検出時の枠の色</u> ターゲット：黄 / ライン：赤
カウントリセット	「設定された時間で実行」で、カウントリセットの間隔を設定します。 毎日：時間を指定します。 毎週：曜日(日～土)と時間を指定します。 毎月：日にち(1～31)と時間を指定します。 オフ：カウントリセットはしません。 マニュアル：  をクリックして、手動でリセットを行います。

※1 ローカル PC に保存する場合は、[4.1.3. ローカル設定](#)の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PLC > 日付 》に保存されます。



※2 SD カードに保存する場合は、「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

“エリア”タブを開き、検出ラインを設定します。



ターゲットカウントのライン設定

- ① 検出ラインは 1 つのみ設定できます。ラインに対する A エリアと B エリアの検出方向を設定します。
A->B : A から B を Entrance、B から A を Exit でカウントします。
A<-B : A から B を Exit、B から A を Entrance でカウントします。
- ② **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上でドラッグし検出ラインを作成します。



- ③ **描画を終了** をクリックすると、検出ラインの描画を停止します。
- ④ **クリア** をクリックすると、検出ラインが削除されます。
- ⑤ Entrance と Exit のカウントを表示します。右上の赤枠をドラッグすると表示位置を変更できます。
- ⑥ **保存** をクリックして保存します。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、ターゲットカウントを行うスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：ターゲットカウントを無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：ターゲットカウントを有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

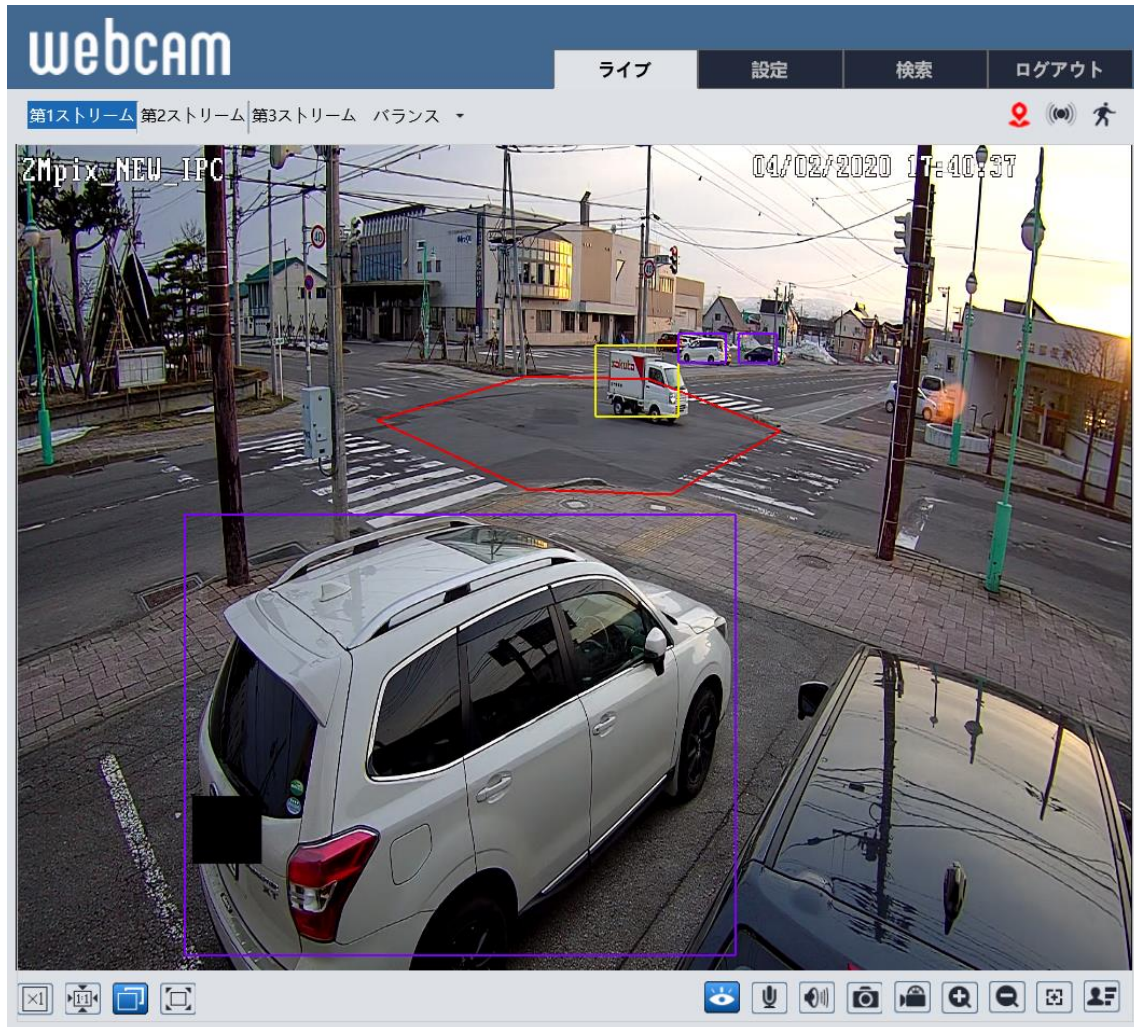
日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.4.6 エリア侵入検知

指定したエリアに侵入したことを検知します。



➤ 検出設定

“検出設定”タブを開き、指定エリアに入るときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ エリア侵入検知

検出設定 エリア スケジュール選択

☒ 有効

☐ パノラマ写真保存

☐ ターゲット切り抜き保存

検出対象

☒ 人間

感度

50

☒ 車両

感度

50

☒ オートバイ/自転車

感度

50



アラーム保持時間

20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力☐ 写真をSDカードに保存☐ SDカード録画☐ Eメールを送信☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	エリア侵入による検出を有効にする場合は、チェックを入れます。 有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。 エリア侵入を検出すると、アイコン  は赤く点滅します。
パノラマ写真保存	検出時のパノラマ写真(全体)をキャプチャします。 パノラマ写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
ターゲット切り抜き保存	検出したターゲットを切り抜いた写真をキャプチャします。 ターゲットの写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。
検出対象	エリア侵入を検出する対象(ターゲット)を選択し、感度を設定します。 またライブ画面上では、以下のように表示されます。

	<p><u>通常時の枠の色</u></p> <p>人間：緑 / 車両：紫 / オートバイ/自転車：水色 / エリア：青</p> <p><u>検出時の枠の色</u></p> <p>ターゲット：黄 / エリア：赤</p>
アラーム保持時間	<p>アラームの保持時間を設定します。</p> <p>保持している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>エリア侵入による検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。</p> <p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、連携するアラーム出力を参照してください。</p>

※1 ローカル PC に保存する場合は、[4.1.3. ローカル設定](#)の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > PEA > 日付 》に保存されます。



※2 SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

“エリア”タブを開き、検出エリアを設定します。



エリア侵入検出のエリア設定

- ⑥ 検出領域を選択します。最大 4 つのエリアを設定できます。
- ⑦ **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上に赤丸を 4～6 つ置き、線で繋ぎ検出エリアを作成します。

- ⑧ **ドローを停止する** をクリックすると、検出エリアの描画を停止します。
- ⑨ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます
- ⑩ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、エリア侵入検知を行うスケジュールを設定します。

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

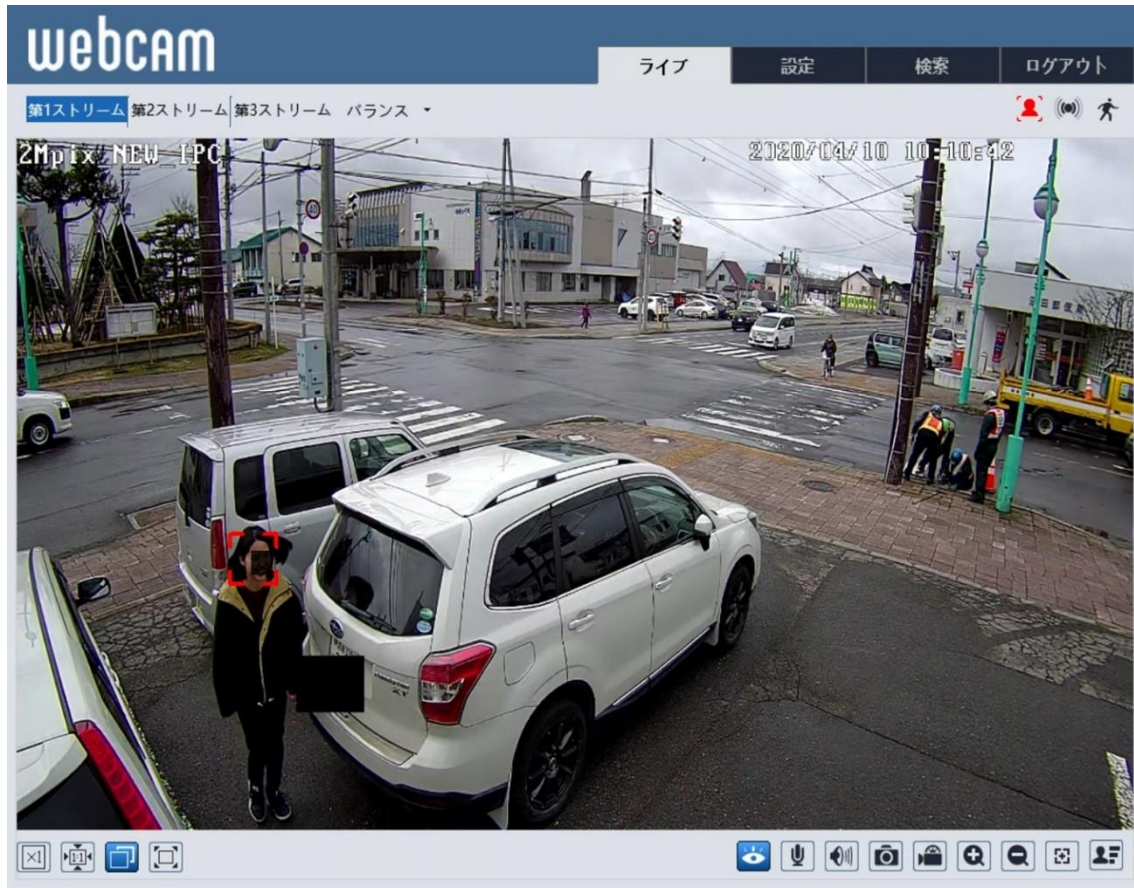
日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、「追加」をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから「削除」をクリックします。

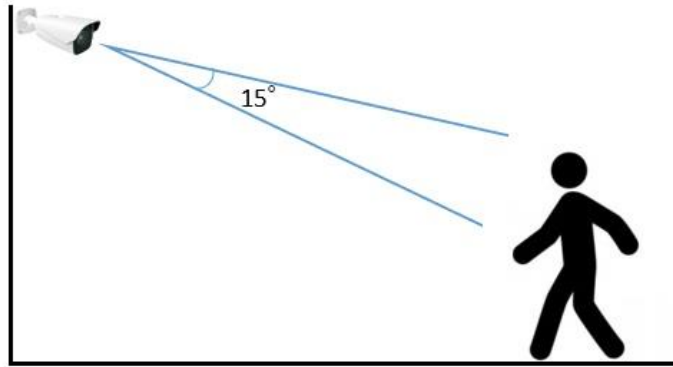
4.4.7 顔検出

映像の中の顔を検出して追跡を行います。



カメラおよび周辺地域の構成要件

- ◆ カメラは、安定した十分な光源のある場所に設置すること。
- ◆ 設置高さは 2.0m～3.5m の範囲で、レンズの焦点距離と対象物の距離に応じて調整可能。
- ◆ カメラの俯角※1 は、15°以下でなければならない。



※1 俯角：水平方向に見下ろしたときの、検出可能な角度。

- ◆ 顔検出の精度を確保するため、左右方向に 30°以内、上下方向に 20°以内の顔のみ撮影されます。
- ◆ 混雑したシーン(空港、駅、広場など)、逆光のシーン、交差点などでは顔検出はできないか、著しく精度が低くなります。

➤ 検出設定

“検出設定”タブを開き、指定領域に入るときのアラームを設定します。

設定ホーム ▶ イベント設定 ▶ 顔検出

検出設定 エリア 高度な設定 スケジュール選択

状態 ワーキング

☒ 有効

☐ 顔検出時に顔が含まれる写真全体をSDカードに保存する

☐ 顔検出時に顔写真をSDカードに保存する

アラーム保持時間 20秒

連携するアラーム出力

☐ アラーム接点出力




☐ 写真をSDカードに保存

☐ SDカード録画

☐ Eメールを送信

☐ FTPファイル転送

保存

表示	説明
有効	<p>顔検出を有効にする場合は、チェックを入れます。</p> <p>有効である場合、ライブ画面の右上にアイコン  が表示されます。</p> <p>顔検出後に、アイコンは赤く  点滅します。また、右下の  で、検出された顔を確認することができます。</p>
顔検出時に顔が含まれる写真全体をSDカードに保存する	<p>検出時の全体写真をキャプチャします。</p> <p>全体写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
顔検出時に顔写真をSDカードに保存する	<p>検出したターゲットの顔写真をキャプチャします。</p> <p>顔写真はローカル PC※1 または SD カード※2 に保存されます。</p>
アラーム保持時間	<p>アラームの保持時間を設定します。</p> <p>保持している間は、ライブ画面上でアイコンが赤く点滅しています。</p>
連携するアラーム出力	<p>顔検出では、以下の 5 つのアラームを設定できます。</p>

	<p>アラーム接点出力、写真を SD カードに保存、SD カード録画、E メールを送信、FTP ファイル転送</p> <p>※各アラームの説明は、連携するアラーム出力を参照してください。</p>
--	---

※1 ローカル PC に保存する場合は、[4.1.3. ローカル設定](#)の「ローカルスマート静止画保存ストレージ」を有効(ON)にしてください。

写真は、《 静止画保存のパス > picture > IP アドレス > VFD > 日付 》に保存されます。



※2 SD カードに保存する場合は、連携するアラーム出力の「写真を SD カードに保存」を有効にする必要があります。

➤ エリア

“エリア”タブを開き、検出エリアと検出する顔の大きさを設定します。

検出設定
エリア
高度な設定
スケジュール選択

2Mpix NEW IPC
14/13/21 11:19:27

エリアを描く
クリア

☒ 最小
 %
☐ 最大
 %

保存

検出エリアと検出する顔の大きさを設定

- ① **エリアを描く** をクリックし、ディスプレイ上の黄色の枠で検出エリアを作成します。



- ② **描画を終了** をクリックすると、検出エリアの描画を停止します。
- ③ **クリア** をクリックすると、検出エリアが削除されます。
- ④ 顔の大きさの最小値と最大値を設定します。(3~50%)
選択されている方は赤い点で表され、赤い点をドラッグすることで調節もできます。
- ⑤ **保存** をクリックし、検出エリアを保存します。

➤ 高度な設定

“高度な設定”タブを開き、同じターゲットの画像が重複しないように設定します。

検出設定

エリア

高度な設定

スケジュール選択

重複排除期間

撮影時間間隔

30秒

▼

写真撮影数

3

☒

保存

表示	説明
撮影時間間隔	30 秒が選択されている場合、同じターゲットがカメラ内に存在していると、30 秒に一度キャプチャします。
写真撮影数	チェックを入れることで、スナップショットの枚数を指定できます。 上記の撮影時間間隔で、最大何枚の写真を撮影するか設定します。 チェックが外れている(無効)場合、撮影時間間隔(上図では 30 秒間隔)で 1 枚撮影します。

➤ スケジュール選択

“スケジュール選択”タブを開き、顔検出を行うスケジュールを設定します。

The screenshot displays the 'スケジュール選択' (Schedule Selection) tab. At the top, there are tabs for '検出設定', 'エリア', '高度な設定', and 'スケジュール選択'. Below these, there are radio buttons for '消去' (Delete) and '追加' (Add). The main area is titled '一週間の日程' (Weekly Schedule) and shows a grid for the days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土). Each day has a timeline from 00:00 to 24:00. A green bar indicates the active schedule. Below the grid is a section for '休日設定とスケジュール' (Holiday Setting and Schedule) with a date input (04-03), '追加' (Add) and '削除' (Delete) buttons, and another timeline. A '保存' (Save) button is at the bottom right.

スケジュールの設定方法

◆ 一週間の日程

日曜日～土曜日の一週間のスケジュールを設定します。

消去：顔検出を無効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(白)

追加：顔検出を有効にする時間帯を、タイムライン上でクリックまたはドラッグします。(緑)

手動入力：「消去」または「追加」を選択してから、タイムライン右下の「手動入力」をクリックし、時間帯を設定します。

◆ 休日設定とスケジュール

日付を指定してスケジュールを設定します。

日付を指定し、**追加** をクリックします。その後、タイムラインでスケジュールを設定して保存します。

削除するときは、日付を選択してから **削除** をクリックします。

4.5 ネットワーク

TCP/IP、ポート、サーバ、DDNS、SNMP、802.1X、RTSP、UPnP、Email、FTP、HTTPS、QoS、12 のサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI レンズの調整 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔検出 </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ </div>	<div> 設定ホーム ▶ ネットワーク設定 </div> <div> ネットワーク設定 <ul style="list-style-type: none"> TCP/IP ネットワークの設定を行います (IPアドレス、DNSサーバ、PPPoEなど) ポート HTTP、HTTPS、データ、RTSPなどのポート設定。 サーバ 認証サーバを設定します。 DDNS DDNSサーバを設定します。 SNMP ネットワーク機器を監視しネットワーク障害の原因を突き止めます 802.1X デバイスの認証モードを手動で選択できるようにします。 RTSP リモートビデオストリーミングを使用する場合はRTSPを設定します UPnP ネットワークに接続する機器同士を接続しやすくします。 Email Eメールに関する設定を行います。 FTP FTPサーバの設定を行います。 HTTPS httpsはSSLを利用したhttp通信です。SSLは通信を暗号化し、安全にWeb情報のやりとりを行うことができます。 QoS ネットワーク機器に QoSを実装することで、ある特定の通信を優先して伝送させたり、帯域幅を確保することができます。 </div>
--	--

4.5.1 TCP/IP

ネットワークの設定を行います。(IP アドレス、DNS サーバ、PPPoE など)

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ TCP/IP

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

➤ IPv4

IPv4 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバを手動で設定・変更する必要があります。

をクリックすると、IP アドレスが使えるのか(競合していないか)確認することができます。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☐ 自動的にIPアドレスを取得する

☒ 以下のIPアドレスを使う

IPアドレス

サブネットマスク

ゲートウェイ

優先DNSサーバ

代替DNSサーバ

➤ IPv6

IPv6 の設定方法

◆ 自動的に IP アドレスを取得する

DHCP より自動的に IP アドレスを取得します。

◆ 以下の IP アドレスを使う

IP アドレス、サブネットプレフィックス長さ、ゲートウェイを手動で設定・変更する必要があります

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="radio"/> 自動的にIPアドレスを取得する			
<input checked="" type="radio"/> 以下のIPアドレスを使う			
IPアドレス	<input type="text" value="fe80::20c:29ff:fe37:3729"/>		
サブネット長	<input type="text" value="64"/>		
ゲートウェイ	<input type="text" value="fe80::20c:29ff:fe37:1"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

➤ PPPoE 設定

有効にチェックを入れ、PPPoE を有効にします。

IPv4	IPv6	PPPoE設定	IP変更通知設定
<input type="checkbox"/> 有効			
ユーザー名	<input type="text"/>		
パスワード	<input type="password"/>		
<input type="button" value="保存"/>			

ISP(プロバイダ)から提供された、ユーザ名とパスワードを入力し、保存をクリックします。

WAN IP を取得すると、インターネットに接続できます。

➤ IP 変更通知設定

デバイスの IP アドレスを変更すると、新しい IP アドレスが自動的にメールまたは FTP に送信されます。

IPv4 IPv6 PPPoE設定 IP変更通知設定

☒ Eメールを送信

メールの送信先

☐ @hytec.co.jp

☐ @yahoo.co.jp

☐ @gmail.com

☒ FTPファイル転送

サーバアドレス

☐ 172.16.2.3

保存

「Eメールを送信」にチェックを入れると、Eメールによる通知が有効になります。

通知メールの送信先をリストから選択します。

※Eメール通知の送受信に関する設定は、[4.5.9. Email](#) で事前に行う必要があります。

「FTP ファイル」にチェックを入れると、FTP サーバへのファイル転送が有効になります。

FTP サーバをリストから選択します。

※FTP サーバに関する設定は、[4.5.10. FTP](#) で事前に行う必要があります。

保存 をクリックして、設定を保存します。

4.5.2 ポート

HTTP、HTTPS、データ、RTSP のポート番号を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート

サーバ

DDNS

SNMP

802.1X

RTSP

UPnP

Email

FTP

HTTPS

QoS

HTTPポート

80

HTTPSポート

443

データポート

9008

RTSPポート

554

保存

表示	説明
HTTP ポート	デフォルトの HTTP ポートは 80 です。
HTTPS ポート	デフォルトの HTTPS ポートは 443 です。
データポート	デフォルトのデータポートは 9008 です。
RTSP ポート	デフォルトの RTSP ポートは 554 です。

4.5.3 サーバ

認証サーバを設定します。この機能は、主にネットワークビデオ管理システムの接続に使用されます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート **サーバ** DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS QoS

☒ 有効

サーバポート

サーバアドレス

デバイスID

保存

サーバを設定します。

- ① 有効にチェックを入れ、サーバを有効にします。
- ② ECMS/NVMS の転送メディアサーバの IP アドレスと自動レポートポートを確認します。
- ③ ECMS/NVMS に新しいデバイスを追加するとき、自動レポートを確認します。
- ④ デバイスの情報を ECMS/NVMS に入力します。
- ⑤ システムはすべてのデバイス ID を自動的に表示します。ECMS/NVMS で確認してください。
- ⑥ 上記のサーバアドレス、サーバポート、デバイス ID を入力します。
- ⑦ **保存** をクリックして、設定を保存します。

4.5.4 DDNS

DDNS サーバを設定します。

DDNS 設定方法

いくつかの DDNS タイプが選択されている場合、サーバアドレスとドメイン名を入力する必要があります。DNS ウェブサイトにアクセスしてドメイン名を登録し、ここに登録されたドメイン情報を入力してください。

《例》 **www.dvrdydns.com** をサーバとした場合

- ① IE アドレスバーに **www.dvrdydns.com** を入力し、DDNS ウェブサイトにアクセスしてください。

- ② 「Registration（登録）」ボタンをクリックすると、以下のようにインタフェースに進みます。
DDNS アカウント情報（ユーザ名、パスワードなど）を設定し、「Submit（送信）」ボタンをクリックして、アカウントを保存します。

- ③ ドメイン名を作成し、「Request Domain（ドメインの要求）」をクリックします。

- ④ ドメイン名を要求すると、ドメイン名の情報がリストに表示されます。

- ⑤ DDNS 設定を開きます。DDNS を有効にし、DDNS タイプは www.dvrdydns.com を選択します。登録したユーザ名、パスワード、ドメイン名を入力し、「適用」をクリックします。
- ⑥ ルータの IP アドレスと HTTP ポートをマッピングします。（UPnP 機能が有効になっている場合は、この手順をスキップできます）
- ⑦ IE アドレスバーに <http://www.xxx.dvrdydns.com:81> のような登録済みのドメイン名と HTTP ポートを入力し、入力キーを押して IE クライアントに進みます。

4.5.5 SNMP

SNMP を設定します。

SNMP 機能は、カメラのステータスやパラメータ、アラーム情報を取得し、カメラをリモートで管理できます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS **SNMP** 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS QoS

SNMP v1/v2

☐ SNMPv1を有効にする

☐ SNMPv2を有効にする

SNMPコミュニティのリード

SNMP名称を書く

トラップ住所

トラップポート

トラップグループ名

SNMP v3

☐ SNMPv3を有効にする

ユーザー名のリード

セキュリティレベル

認証アルゴリズム ☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

秘密鍵アルゴリズム ☒ DES ☐ AES

秘密鍵パスワード

ユーザー名を書く

セキュリティレベル

認証アルゴリズム ☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

秘密鍵アルゴリズム ☒ DES ☐ AES

秘密鍵パスワード

SNMPその他の設定

SNMPポート

保存

➤ SNMP v1/v2

「SNMPv1 を有効にする」「SNMPv2 を有効にする」にチェックを入れ、SNMPv1/v2 を有効にします。

SNMP v1/v2	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv1を有効にする	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv2を有効にする	
SNMPコミュニティのリード	<input type="text" value="public"/>
SNMP名称を書く	<input type="text" value="private"/>
トラップ住所	<input type="text" value="192.168.226.201"/>
トラップポート	<input type="text" value="162"/>
トラップグループ名	<input type="text" value="public"/>

表示	説明
SNMP コミュニティのリード	Read-only。SNMP による読み取り専用のコミュニティ名を入力します。
SNMP 名称を書く	Read-write。SNMP による読み書き専用のコミュニティ名を入力します。
トラップ住所	トラップ送信先 SNMP マネージャの IP アドレスを入力します。
トラップポート	トラップポートを入力します。
トラップグループ内	トラップのコミュニティ名を入力します。

➤ SNMP v3

「SNMPv3 を有効にする」にチェックを入れ、SNMPv3 を有効にします。

SNMP v3	
<input checked="" type="checkbox"/> SNMPv3を有効にする	
ユーザー名のリード	<input type="text" value="public"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="....."/>
ユーザー名を書く	<input type="text" value="private"/>
セキュリティレベル	<input type="text" value="auth, priv"/>
認証アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> MD5 <input type="radio"/> SHA
認証パスワード	<input type="text" value="....."/>
秘密鍵アルゴリズム	<input checked="" type="radio"/> DES <input type="radio"/> AES
秘密鍵パスワード	<input type="text" value="....."/>

表示	説明
ユーザ名のリード	SNMP による読み取り専用のユーザ名を入力します。
ユーザ名を書く	SNMP による読み書き専用のユーザ名を入力します。
セキュリティレベル	<p>ユーザ認証には 3 つのセキュリティレベルがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ auth, priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化あり。 ・ auth, no priv : 認証アルゴリズムで認証。暗号化なし。 ・ no auth, no priv : ユーザ名のみで認証。暗号化なし。
認証アルゴリズム	認証方式を MD5 または SHA から選択します。
認証パスワード	認証パスワードを設定します。
秘密鍵アルゴリズム	暗号化方式を DES または AES から選択します。
秘密鍵パスワード	暗号化パスワードを設定します。

➤ SNMP その他の設定

SNMP ポートを設定して、保存をクリックします。

SNMPその他の設定	
SNMPポート	<input type="text" value="161"/>

4.5.6 802.1X

802.1X を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP **802.1X** RTSP UPnP Email FTP HTTPS QoS

☒ 有効

プロトコルタイプ
EAP_MD5

EAPOLバージョン
1

ユーザー名

パスワード

パスワード確認

保存

802.1X の設定方法

- ① 有効にチェックを入れ、802.1X 認証を有効にします。
- ② プロトコルタイプと EAPOL バージョンは、デフォルト設定でご使用ください。
- ③ ユーザ名とパスワードは、認証サーバに登録されているユーザ名とパスワードを入力してください。

4.5.7 RTSP

RTSP を設定します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート	サーバ	DDNS	SNMP	802.1X	RTSP	UPnP	Email	FTP	HTTPS	QoS
-----	-----	------	------	--------	-------------	------	-------	-----	-------	-----

☒ 有効

ポート

アドレス

マルチキャストアドレス

第1ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.0"/>	<input type="text" value="50554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
第2ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.1"/>	<input type="text" value="51554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
第3ストリーム	<input type="text" value="239.0.0.2"/>	<input type="text" value="52554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート
音声	<input type="text" value="239.0.0.3"/>	<input type="text" value="53554"/>	<input type="checkbox"/> 自動スタート

☐ 匿名ログインを許可 (ユーザー名およびパスワード不要)

保存

「有効」にチェックを入れ、RTSP を有効にします。

- ポート : [4.5.2 ポート](#) の RTSP ポートと連動しています。
- アドレス : VLC プレーヤーで再生する時に使用する RTSP アドレスを表示します。

【例】 RTSP アドレス (ユニキャスト)

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226:554/profile1

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226:554/profile2

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226:554/profile3

- マルチキャストアドレス : マルチキャストアドレス、ポート番号を設定します。

【例】 RTSP アドレス (マルチキャスト)

第 1 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226:554/profile1?transportmode=mcast

第 2 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226:554/profile2?transportmode=mcast

第 3 ストリーム ⇒ rtsp://192.168.226:554/profile3?transportmode=mcast

- 「匿名ログインを許可する (ユーザ名またはパスワードは不要)」 に、チェックを入れると RTSP 認証を省いて再生できます。

4.5.8 UPnP

UPnP 機能はポートマッピングなしのルータ経由で WAN に接続され、IE からカメラにアクセスできます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP **UPnP** Email FTP HTTPS QoS

☒ 有効

UPnP名

保存

UPnP の設定方法

- ① ルータが UPnP 機能に対応し、ルータで UPnP が有効になっていることを確認します。
- ② ルータに対応するカメラの IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイなどを設定します。
- ③ 有効にチェックを入れ、UPnP 機能を有効にします。この機能を有効にすると、LAN 経由でカメラにすばやくアクセスすることができます。
- ④ UPnP 名を入力して、保存をクリックします。

4.5.9 Email

Email に関する設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP **Email** FTP HTTPS QoS

送信者

送信者アドレス

ユーザー名

パスワード

サーバアドレス

安全な接続 ▼

SMTPポート デフォルト

☒ 送信間隔(S) (10-3600)

クリア テスト

受信者

@hytec.co.jp

@yahoo.co.jp

@gmail.com

受信者アドレス

追加 削除

保存

➤ 送信者

送信者のアドレス、SMTP サーバなどを設定します。

送信者	
送信者アドレス	<input type="text" value="Hytecinter@nifty.com"/>
ユーザー名	<input type="text" value="Hytecinter"/>
パスワード	<input type="password" value="....."/>
サーバアドレス	<input type="text" value="smtp.nifty.com"/>
安全な接続	<input type="text" value="SSL"/> ▼
SMTPポート	<input type="text" value="465"/> <input type="button" value="デフォルト"/>
<input type="checkbox"/> 送信間隔(S)	<input type="text" value="60"/> (10-3600)
<input type="button" value="クリア"/> <input type="button" value="テスト"/>	

送信者の設定方法

- ① 送信者の E メールアドレスを入力します。
- ② ユーザ名はアカウント名(メールアドレスの@より前の部分)、パスワードはメールのパスワードを入力します。
- ③ サーバアドレスは SMTP サーバを入力します。
- ④ セキュリティは SSL を選択し、SMTP ポートは 465 を指定します。 で初期値に戻る。
- ⑤ E メールを送信間隔を設定します。
 チェックを入れ 300 秒に設定した場合、300 秒に 1 通のメールが送信されます。300 秒の間に複数検出された場合、検出時間などをまとめて 1 通で通知します。添付写真は最初の検出写真。
- ⑥ をクリックして、アカウントの接続テストを行います。

注 Yahoo や Gmail 等のフリーメールはご利用いただけません。ISP が提供するメールサービスをお使いください。

➤ 受信者

「受信者アドレス」欄に受信者のメールアドレスを入力し、 をクリックしてリストに追加します。
 削除する場合は、リストから削除するアドレスを選択し、 をクリックしてリストから削除します。

受信者

@hytec.co.jp

@yahoo.co.jp

@gmail.com

受信者アドレス

追加

削除

4.5.10 FTP

FTP サーバの設定を行います。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email **FTP** HTTPS QoS

サーバ名	サーバアドレス	ポート	ユーザー名	パス	
FTP_TEST	172.16.2.9	21	test		

追加 変更 削除 テスト

保存

➤ FTP 追加/変更

FTP サーバを追加するには、**追加** をクリックします。変更する場合は、**変更** をクリックします。

FTPを追加

サーバー名

サーバーアドレス

ルートアップロード 例:/Dir/folder

ポート 21

ユーザー名

パスワード

☐ 匿名

OK

キャンセル

表示	説明
サーバ名	FTP サーバの名前を入力します。
サーバアドレス	FTP サーバの IP アドレスまたはドメイン名を入力します。
ルートアップロード	ファイルのアップロード先を設定します。
ポート	FTP サーバのポート番号を入力します。
ユーザ名/パスワード	FTP サーバのユーザ名とパスワードを入力します。 匿名にチェックを入れると、ユーザ名とパスワードの入力を省きます。

➤ テスト

テスト をクリックすると、選択している FTP サーバとの接続確認を行います。

➤ FTP 削除

削除 をクリックすると、選択している FTP サーバを削除します。

4.5.11 HTTPS

HTTPS を設定します。HTTPS は Web サイトの認証を提供し、ユーザのプライバシーを保護します。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP **HTTPS** QoS

☒ 有効

証明書のインストール	C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware	削除
属性	発行されました: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware, OU=IPC, H=localhost, E=com.cn, 発行者: C=CN, ST=GD, L=SZ, O=embeddedsoftware, OU=IPC, H=localhost, E=com.cn, 有効期限: 2017-07-26 01:02:07 ~ 2022-07-26 01:02:07	

保存

有効にチェックを入れて、HTTPS へのアクセスを有効にし、**保存** をクリックして設定を保存します。

Web ブラウザを使用して、「https://IP アドレス:HTTPS ポート」にアクセスします。

《 例 : <https://192.168.226.201:443> 》

デフォルトで証明書がインストールされています。

デフォルトの証明書を使用しない場合は、**削除** をクリックして証明書を削除し、プライベート証明書を作成することもできます。

4.5.12 QoS

データストリームの転送に優先順位を付けることができます。

設定ホーム ▶ ネットワーク設定 ▶ 高度な設定

ポート サーバ DDNS SNMP 802.1X RTSP UPnP Email FTP HTTPS **QoS**

ビデオ/オーディオDSCP

0

アラームDSCP

0

マネージャDSCP

0

保存

ネットワーク遅延やネットワーク混雑を改善するために、それぞれのストリームに優先度を設定し、順番に転送を行います。数値が大きいくほど、優先度は高くなります。

表示	説明
ビデオ/オーディオ DSCP	0 ～63 の範囲でビデオ/オーディオの優先度を設定します。
アラーム DSCP	0 ～63 の範囲でアラームの優先度を設定します。
マネージャ DSCP	0 ～63 の範囲でマネージャの優先度を設定します。

4.6 セキュリティ設定

ユーザ、オンラインユーザ、ブロックと許可リスト、セキュリティ管理、4つのサブメニューがあります。

<div>  システム設定 基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ </div> <div>  画像設定 画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI レンズの調整 </div> <div>  アラーム設定 モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ </div> <div>  イベント設定 妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔検出 </div> <div>  ネットワーク設定 TCP/IP ポート 更に追加... </div> <div>  セキュリティ設定 ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理 </div> <div>  メンテナンス バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ </div>	<div> 設定ホーム ▶ セキュリティ設定 </div> <div> セキュリティ設定 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー ユーザーの追加、修正、削除を行います。但し管理者アカウント：adminは削除できません。 オンラインユーザー オンラインのユーザーを表示します。 ブロックと許可リスト 特定のIPアドレスまたはMACアドレスからのアクセスを許可またはブロックします。 セキュリティ管理 不正ログインを検出した時にデバイスをロックします。 </div>
--	--

4.6.1 ユーザ

ユーザの追加、変更、削除を行います。管理者アカウントの admin は削除できません。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ ユーザー

追加 変更 削除			
Index	ユーザー名	ユーザー区分	MAC結合
1	admin	管理者	

ユーザの追加方法

- ① **追加** をクリックすると、「ユーザの追加」がポップアップします。

ユーザの追加 ×

ユーザー名	<input type="text" value="user"/>
パスワード	<input type="password" value="....."/>
レベル	<div> <div></div> <div></div> <div></div> </div> <p>passwordLowTip</p>
パスワード確認	<input type="password" value="....."/>
ユーザー区分	上級ユーザー ▼
MAC結合	<input type="text" value="00:00:00:00:00:00"/> <input type="checkbox"/>

OK キャンセル

- ② ユーザ名とパスワード(パスワード確認)は、1～15 文字の英数字で設定します。

- ③ ユーザ区分を選択します。
 - ・ 管理者：すべての権限を持っています。
 - ・ 上級ユーザ：「ユーザ」、「ブロックと許可リスト」、「バックアップと復元」、「アップグレード」以外、管理者と同じ権限を持っています。
 - ・ ノーマルユーザ：「ライブ」の表示と「検索」のみ可能です。設定の変更はできません。
- ④ MAC 結合を指定することで特定の PC だけが、そのユーザからカメラにアクセスすることができます。チェックを入れて MAC アドレスを指定してください。

パスワードの変更方法

- ① **変更** をクリックすると、「ユーザの編集」がポップアップします。

- ② 「パスワードの変更」にチェックを入れ、新しいパスワードを入力し、OK をクリックします。
(MAC 結合も変更可能)

ユーザの削除方法

- ① 削除するユーザを選択します。選択されているユーザは青くなります。
- ② **削除** をクリックすると、削除の確認がポップアップするので OK をクリックします。

4.6.2 オンラインユーザ

オンラインユーザを表示します。

管理者ユーザは、他のすべてのユーザを追い出す(キックアウト)ことができます。

設定ホーム ▶ セキュリティ ▶ オンラインユーザー

Index	クライアントアドレス	ポート	ユーザー名	ユーザータイプ	
1	172.16.2.188	56916		匿名ユーザー	キックアウト
2	172.16.2.188	56917		匿名ユーザー	キックアウト
3	172.16.2.7	6874	admin	管理者	キックアウト

4.6.3 ブロックと許可リスト

特定の IP アドレスまたは MAC アドレスからのアクセスを許可またはブロックします。
「アドレスフィルタリングを有効にする」にチェックを入れ、許可/ブロックの設定を行います。

IP/MAC アドレスフィルタの追加方法

- ① 「次のアドレスをブロックします」または「次のアドレスを許可します」のどちらかを選択します。
 - ・ ブロック：リスト内のみブロックし、その他のデバイスは許可されます。
 - ・ 許可：リスト内のみ許可し、その他のデバイスはブロックされます。
- ② IPv4、IPv6、MAC のどれかを選択し、アドレスを入力します。
- ③ **追加** をクリックすると、リストに表示されます。
- ④ **保存** をクリックして保存します。

IP/MAC アドレスフィルタの削除方法

- ① リストからアドレスを選択します。
- ② **削除** をクリックすると、選択しているアドレスを削除します。

4.6.4 セキュリティ管理

不正ログインを検出した時の対応を設定します。

設定ホーム ▶ セキュリティ設定 ▶ セキュリティ管理	
セキュリティサービス	パスワードセキュリティ
<input checked="" type="checkbox"/> 不正ログインによるロックを有効	
保存	

➤ セキュリティサービス

“セキュリティサービス”タブを開き、不正ログインによるロック解除を防ぐことができます。

セキュリティサービス	パスワードセキュリティ
<input checked="" type="checkbox"/> 不正ログインによるロックを有効	
保存	

「不正ログインによるロックを有効」が有効である場合、ログイン試行に 6 回失敗するとロックされます。

ロックから 30 分後またはカメラの再起動によって、カメラは再度ログインすることができます。

➤ パスワードセキュリティ

“パスワードセキュリティ”タブを開き、パスワードのレベルと有効期限を設定します。

セキュリティサービス	パスワードセキュリティ
パスワードレベル	low ▼
有効期限	永久 ▼
保存	

パスワードレベルは、パスワード変更で利用できる文字の種類と長さを設定します。

low : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 1 文字以上

mid : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」から 2 種類以上を組合わせて 9 文字以上

high : 「英字の大文字」「英字の小文字」「数字」「記号」の全種類を組合わせて 9 文字以上

有効期限を設定した場合、期限が切れたときにパスワードの変更画面がポップアップします。

4.7 メンテナンス

バックアップと復元、再起動、アップグレード、操作ログ、4 つのサブメニューがあります。

<div> システム設定</div> <div>基本情報 日付と時間 ローカル設定 ストレージ</div>	設定ホーム ▶ メンテナンス
<div> 画像設定</div> <div>画質調整 映像/音声 OSD プライバシーマスク ROI レンズの調整</div>	<div>メンテナンス</div> <div><div> バックアップと復元</div>システム構成のバックアップ/復元、または工場出荷設定へのリセットを行います。</div> <div><div> 再起動</div>カメラを再起動します。</div> <div><div> アップグレード</div>カメラのソフトウェアを更新します。</div> <div><div> 操作ログ</div>操作ログを表示します。</div>
<div> アラーム設定</div> <div>モーション検出 異常 アラーム入力 アラーム接点出力 アラームサーバ</div>	
<div> イベント設定</div> <div>妨害検知 ラインクロス 領域に入る 領域を出る ターゲットカウント エリア侵入検知 顔検出</div>	
<div> ネットワーク設定</div> <div>TCP/IP ポート 更に追加...</div>	
<div> セキュリティ設定</div> <div>ユーザー オンラインユーザー ブロックと許可リスト セキュリティ管理</div>	
<div> メンテナンス</div> <div>バックアップと復元 再起動 アップグレード 操作ログ</div>	

4.7.1 バックアップと復元

システム構成のバックアップと復元、工場出荷時へのリセットを行います。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ バックアップと復元

設定のインポート

パス [参照...](#)

[設定のインポート](#)

設定のエクスポート

[設定のエクスポート](#)

設定を初期化する

設定を保持 ☐ ネットワーク設定
☐ セキュリティ設定
☐ 画像設定

[工場出荷設定に戻す](#)

➤ 設定のインポート

参照をクリックして、バックアップファイルを選択します。設定のインポート をクリックして、設定を復元します。

設定のインポート	
パス	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
<input type="button" value="設定のインポート"/>	

➤ 設定のエクスポート

設定のエクスポート をクリックして、設定をバックアップします。

設定のエクスポート
<input type="button" value="設定のエクスポート"/>

➤ 設定を初期化する

工場出荷設定に戻す をクリックして、設定をデフォルトします。

「設定を保持」で選択した設定項目は、デフォルトを行わず、現在の設定を保持します。

設定を初期化する	
設定を保持	<div> <input type="checkbox"/> ネットワーク設定 <input type="checkbox"/> セキュリティ設定 <input type="checkbox"/> 画像設定 </div>
<input type="button" value="工場出荷設定に戻す"/>	

4.7.2 再起動

カメラの再起動を行います。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ リポート

リポート

リポート

アップデートには1～5分かかります。正常に終了すると、ブラウザは自動的に再接続します。

定時重化設置

☐ 定時設定

保存

➤ 再起動

再起動 をクリックすると、カメラは再起動を行います。

再起動には 1～5 分かかります。正常に完了すると、自動的に再接続、ログイン画面に戻ります。

再起動

再起動

再起動には1～5分かかります。正常に起動すると、ブラウザは自動的に再接続します。

➤ 定刻自動再起動

定期的に再起動を行います。

「時刻の設定」にチェックを入れると、自動的な再起動が有効になります。毎日または週に一度、決まった時間帯を指定します。

定刻自動再起動

☒ 時刻の設定

週

時間

保存

4.7.3 アップグレード

カメラのソフトウェアを更新します。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ アップグレード

ローカルアップグレード

パス

保存先変更

アップグレード

ソフトウェアのアップグレード方法

- ① をクリックして、ソフトウェアファイルを選択します。
- ② をクリックして、ソフトウェアのアップグレードを開始します。
- ③ デバイスは自動的に再起動します。

※ アップグレード中はブラウザを閉じたり、カメラをネットワークから切断したりしないでください。

4.7.4 操作ログ

ログの種類を選択、開始時間と終了時間を指定、**検索** をクリックすると、ログが表示されます。

設定ホーム ▶ メンテナンス ▶ 操作ログ

第一区分 第二区分

開始時間 終了時間 **検索** **エクスポート**

Index	時間	第一区分	第二区分	ユーザー名	ログインIP
1	2020-04-07 17:20:57	アラーム	モーションストップ		
2	2020-04-07 17:20:54	アラーム	モーションスタート		
3	2020-04-07 17:10:58	アラーム	モーションストップ		
4	2020-04-07 17:10:55	アラーム	モーションスタート		
5	2020-04-07 17:10:54	アラーム	モーションストップ		
6	2020-04-07 17:10:51	アラーム	モーションスタート		
7	2020-04-07 17:08:49	アラーム	モーションストップ		
8	2020-04-07 17:08:46	アラーム	モーションスタート		
9	2020-04-07 17:07:50	アラーム	モーションストップ		
10	2020-04-07 17:07:47	アラーム	モーションスタート		
11	2020-04-07 17:07:18	アラーム	モーションストップ		
12	2020-04-07 17:07:15	アラーム	モーションスタート		
13	2020-04-07 17:07:13	アラーム	モーションストップ		
14	2020-04-07 17:07:09	アラーム	モーションスタート		

1 / 21 20 View 1 - 20 of 402

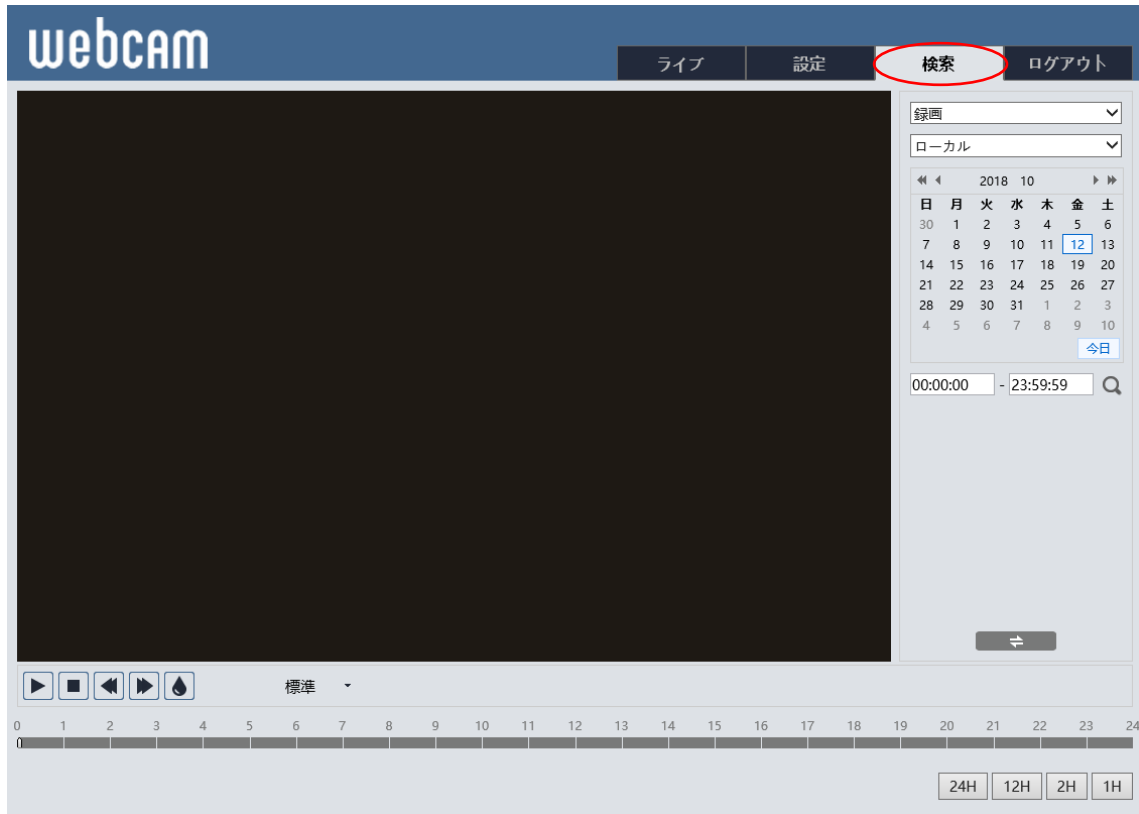
ログの取得方法

- ① 第一区分、第二区分より、取得するログの種類を選択します。
- ② 開始時間と終了時間を設定し、検索するログの時間帯を指定します。
- ③ **検索** をクリックすると、指定時間内のログを表示します。
- ④ **エクスポート** をクリックして、ログをエクスポート・保存することができます。

5. 検索

右上の“検索”タブを開きます。

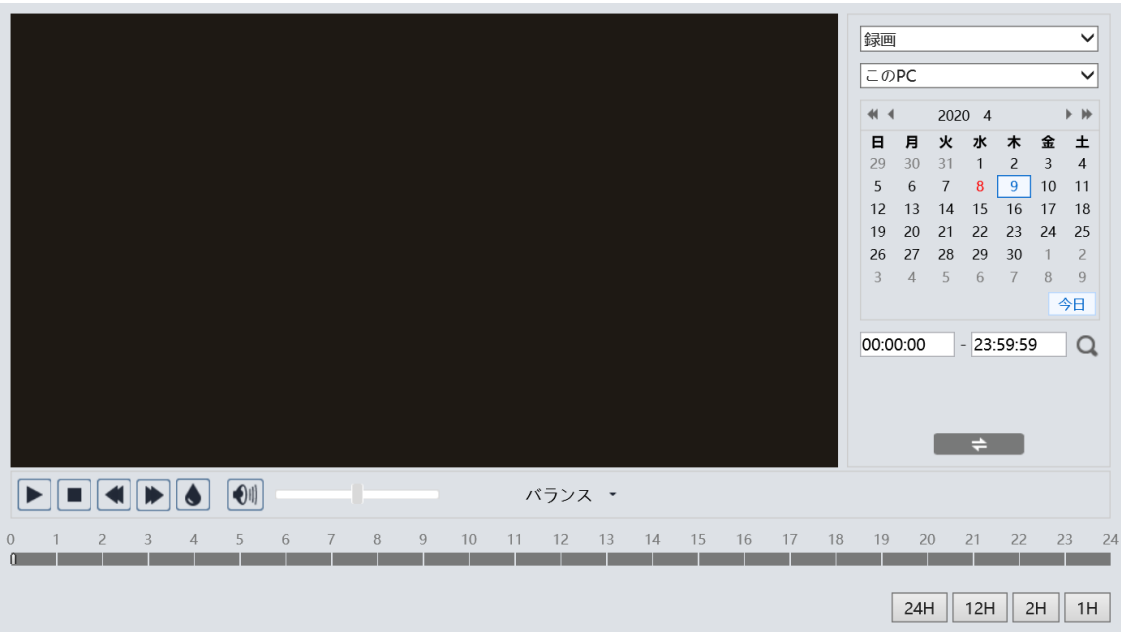
ここでは、SD カードまたはローカル PC に保存されている録画と写真を表示できます。





5.1 録画検索

5.1.1 ローカル録画

PC にローカル録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

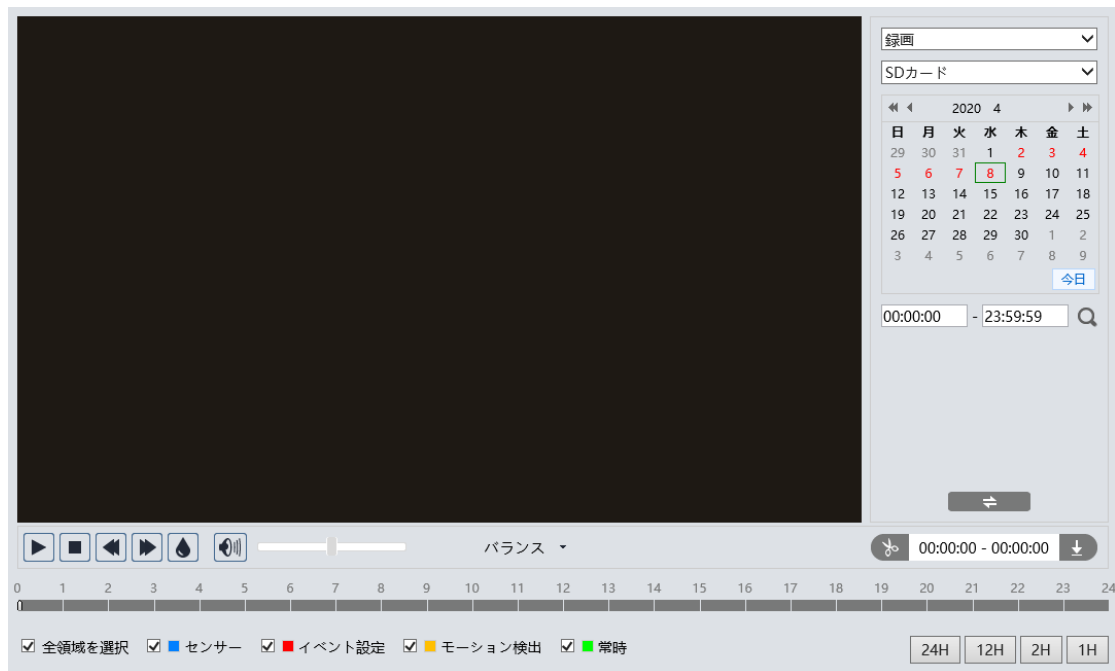
- ① 右上のドロップダウンメニューから、「録画」-「この PC」を選択します。
- ② 検索時間を設定します。日付(録画あり：赤)、開始時間と終了時間を選択します。
- ③  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ④ リスト内のファイルをダブルクリックして再生を開始します。
- ⑤  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑥ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。(録画あり：ピンク)

録画検索画面のアイコンを説明します。



アイコン	説明	アイコン	説明
	再生/一時停止ボタン		停止ボタン
	スピードダウン		スピードアップ
	電子透かし表示		スピーカーON/OFF

5.1.2 SD カード録画

SD カードに録画されているビデオは、ここで再生することができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、「録画」-「SD カード」を選択します。
- ② 検索時間を設定します。日付(録画あり：赤)、開始時間と終了時間を選択します。
- ③  をクリックして、録画ファイルを検索します。
- ④ ミックスストリーム(映像 + 音声)または、ビデオストリーム(映像のみ)を選択します。
- ⑤ リスト内のファイルをダブルクリックして再生を開始します。
- ⑥  で、検索前と検索後の画面を移動できます。
- ⑦ タイムテーブルは 24H / 12H / 2H / 1H 形式で表示できます。
センサー(青)、イベント設定(赤)、モーション検出(橙)、常時録画(緑)で色分けされています。



ビデオクリップとダウンロード

- ① タイムテーブル上をクリックして、開始時間を選択します。
- ② をクリックすると青色 に変わり、開始時間が設定されます。
- ③ 終了時間も①②と同様に行います。
- ④ をクリックして、PC にビデオファイルをダウンロードします。
- ⑤ ダウンロード中は、以下のような画面が表示されます。
 設定：PC の保存ディレクトリを指定 / パス：保存フォルダを開く
 キャンセル：ダウンロードの中止 / 開く：ビデオを再生
 リストクリア：ダウンロードリストの削除 / OFF：ダウンロード画面を閉じる

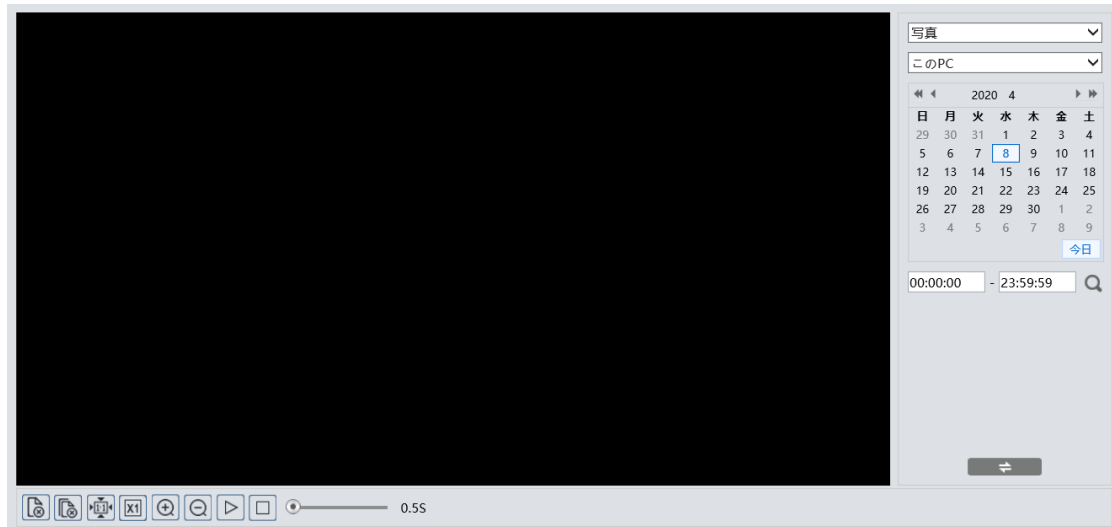
Index	進捗	録画タイプ	開始時間	終了時間	パス	操作
1	<div><div></div></div> 10%	カット	2020-04-08 08:00:00	2020-04-08 08:10:02	NetAllIPCamera	キャンセル
<div> <div>設定</div> <div>C:\Program Files\NetAllIPCamera</div> <div>リストクリア</div> <div>OFF</div> </div>						

※ ファイル横の で、イベントごとにダウンロードすることもできます。



5.2 画像検索

5.2.1 ローカル画像




PC にローカルで保存されている画像は、ここで見ることができます。



検索方法

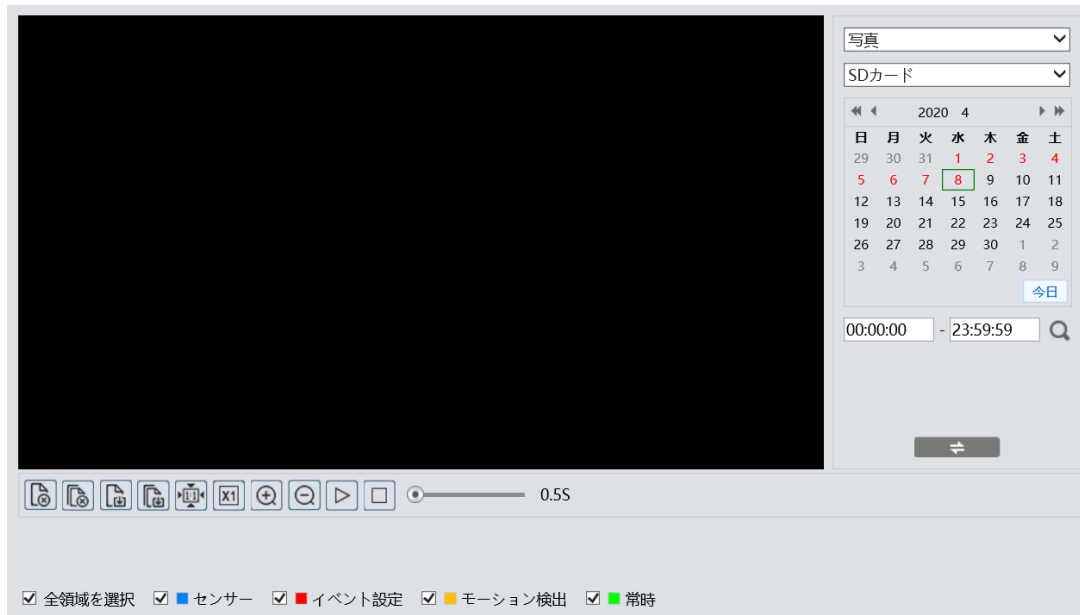
- ① 右上のドロップダウンメニューから、「写真」-「この PC」を選択します。
- ② 検索時間を設定します。カレンダーから日付(録画あり：赤)、開始時間と終了時間を選択します。
- ③  をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ④ リスト内のファイルをダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑤  をクリックすると、検索前の画面に戻ります。

画像検索画面のアイコンを説明します。



アイコン	説明	アイコン	説明
	現在の画像を閉じる		すべての画像を閉じる
	現在の画像を保存		すべての画像を保存
	画面サイズに画像を調節する		実際の画像サイズ
 	ズームイン/ズームアウト		スライドショー再生/一時停止
	スライドショー停止	 0.5S	スライドショーの再生速度

5.2.2 SD カード画像

SD カードに保存されている画像は、ここで見るすることができます。



検索方法

- ① 右上のドロップダウンメニューから、「写真」-「SD カード」を選択します。
- ② 検索時間を設定します。カレンダーから日付(録画あり：赤)、開始時間と終了時間を選択します。
- ③  をクリックして、画像ファイルを検索します。
- ④ リスト内のファイルをダブルクリックして、保存された画像を表示します。
- ⑤  をクリックすると、検索前の画面に戻ります。



6. 製品仕様

製品名	HIC-SD400	
形状	バンドルドーム	
カメラ部		
撮像素子	1/2.8"2MP CMOS SENSOR（SONY STARVIS）	
最低被写体照度	Color：0.005Lux@F1.6,AGC:ON / IR=ON 時：0Lux	
赤外線 LED	実装、照射距離＝30～50m	
S/N 比	54dB 以上（AGC OFF 時）	
レンズ	2.8～12mm 電動リモートレンズ（画角水平 103～32°）	
DAY&NIGHT	自動 / 昼間 / 夜 / スケジュール	
シャッター速度	自動（1/25～1/100000）及びフリッカレス	
ホワイトバランス	自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル	
DNR（ノイズ除去）	OFF/ON（LEVEL 0～255）	
WDR 機能	120dB OFF/ON（LEVEL：低 / 中 / 高）	
逆光補正	OFF/ON（エリア：上 / 下 / 左 / 右 / センター）	
その他の機能	プライバシーマスク（4 エリア）、タイトル表示、縦モード撮影、SD カード録画、モーション検出、異常検知、アラーム入力、妨害検知、ラインクロス、領域の出入り、ターゲットカウント、エリア侵入検知、顔検出	
ネットワーク部		
画像圧縮方式	H.265+/H.265/H.264/MJPEG	
画像サイズ	Main	2592X1520/2560X1440/1920×1080 / 1280×720
	2nd	1280×720 / 704×480 / 352×240
	3rd	704×480 / 480×240 / 352×240
フレームレート	1～30fps	
ビットレート	CBR/VBR（最大ビットレート設定：128kbps～6Mbps）	
音声圧縮	G711A/μ	
プロトコル	UDP, IPv4, IPv6, DHCP, NTP, RTSP, PPPoE, DDNS, SMTP, FTP, SNMP, 802.1X, UPnP, HTTPs, QoS	
インタフェース規格	ONVIF（PROFILES）	
同時アクセス数	6	
その他機能	オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログインロック	

外部インターフェース	
SD カードスロット	Micro SD / SDHC / SDXC (最大 128GB サポート)
音声	入力 : 1 系統 (LINE) 出力 : 1 系統内蔵マイク
映像出力	BNC CVBS1.0Vp-p (NTSC/PAL)
イーサネット	RJ-45 (10/100BASE-TX)
アラーム IN/OUT	入力 : 1 系統 / 出力 : 1 系統
DC 入力コネクタ	+12V
一般	
電源	DC12V (±10%) / PoE
消費電力 (最大)	IR LED OFF = 2.4W (DC12V/200mA) IR LED ON = 5W (DC12V/420mA)
動作温度	-30℃～+60℃
動作湿度	0～90%RH (結露なきこと)
寸法	(Φ)141 x (H)100mm (突起部含まず)
防水/防滴構造	IP67
耐衝撃構造	IK10
重量	890g
保証期間	3 年間

製品名		HIC-SB400	
形状		バレット	
カメラ部			
撮像素子		1/2.8"2MP CMOS SENSOR (SONY STARVIS)	
最低被写体照度		Color : 0.05Lux@F1.6AGC:ON / IR = ON 時 : 0Lux	
赤外線 LED		実装、照射距離 = 30～50m	
S/N 比		54dB 以上 (AGC OFF 時)	
レンズ		2.8～12mm 電動リモートレンズ (画角水平 103～32°)	
DAY&NIGHT		自動 / 昼間 / 夜 / スケジュール	
シャッター速度		自動 (1/25～1/100000) 及びフリッカレス	
ホワイトバランス		自動 / 屋内 / 屋外 / マニュアル	
DNR (ノイズ除去)		OFF/ON (LEVEL 0～255)	
WDR 機能		120dB OFF/ON (LEVEL 低、中、高)	
逆光補正		OFF/ON (エリア : 上/下/左/右/センター)	
その他の機能		プライバシーマスク (4 エリア) 、タイトル表示、縦モード撮影、SD カード録画、モーション検出、異常検知、アラーム入力、妨害検知、ラインクロス、領域の出入り、ターゲットカウント、エリア侵入検知、顔検出	
ネットワーク部			
画像圧縮方式		H.265+/H.265/H.264/MJPEG	
画像サイズ	Main	2592X1520/2560X1440/1920×1080 / 1280×720	
	2nd	1280×720 / 704×480 / 352×240	
	3rd	704×480 / 480×240 / 352×240	
フレームレート		1～30fps	
ビットレート		CBR/VBR (最大ビットレート設定 : 128kbps～6Mbps)	
音声圧縮		G711A/μ	
プロトコル		UDP, IPv4, IPv6, DHCP, NTP, RTSP, PPPoE, DDNS, SMTP, FTP, SNMP, 802.1X, UPnP, HTTP, HTTPS, QoS	
インタフェース規格		ONVIF (PROFILES)	
同時アクセス数		6	
その他機能		オンラインユーザ表示、IP アドレスフィルタ、MAC アドレスフィルタ、パスワード保護、不正ログインロック	

外部インタフェース		
SD カードスロット	Micro SD/SDHC/SDXC（最大 128GB サポート）	
音声	入力：1 系統（LINE）出力：1 系統	
映像出力	BNC CVBS1.0Vp-p（NTSC/PAL）	
イーサネット	RJ-45（10/100BASE-TX）	
アラーム IN/OUT	入力：1 系統/出力：1 系統	
DC 入力コネクタ	+12V	
一般		
電源	DC12V（±10%） / PoE	
消費電力（最大）	IR LED OFF = 2.4W（DC12V/200mA） IR LED ON = 5W（DC12V/420mA）	
動作温度	-30℃～+60℃	
動作湿度	0～90%RH（結露なきこと）	
寸法	（W）100.3 x（H）88.9 x（D）279.5mm（突起部含まず）	
防水/防滴構造	IP67	
耐衝撃構造	－	
重量	1040g	
保証期間	3 年間	

7. 困ったときには

本製品の使用中に何らかのトラブルが発生したときの対処方法について説明いたします。

本体の電源が入らない

以下の点を確認してください。

- 電源コンセントには、電源が供給されているか。
- 電源には、適切な電圧が供給されているか。
- 正しいポートに、電圧が供給されているか。

RJ-45 ポートでリンクが確立しない

以下の点を確認してください。

- 接続先の機器の電源は入っているか。
- 各コネクタとケーブルが正しく接続されているか。

IE ブラウザ経由でデバイスを接続できない

以下の点を確認してください。

- ネットワークが正しく接続されていることを確認してください。
- IP が利用できない可能性(IP の競合など)があります。有効な IP にリセットしてください。
- Web ポート番号が改定されました。 管理者に連絡して、正しいポート番号を取得してください。

※ 上記の 3 つの理由以外の場合、IP-Tool でデフォルト設定に戻します。

デフォルト IP : 192.168.226.201 / サブネットマスク : 255.255.255.0

パスワードを忘れたときの対処方法

- デバイスを出荷時のデフォルト設定にリセットします。

※ デフォルト IP : 192.168.226.201 / ユーザ名 : admin / パスワード : 123456

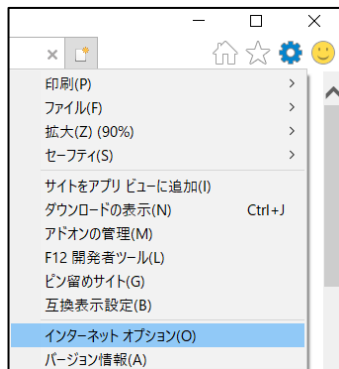
IP-Tool でデバイスを見つけられない

- コンピュータのウイルス対策ソフトウェアが原因である可能性があります。終了して、デバイスを再度検索してください。

IE が ActiveX コントロールをダウンロードできない

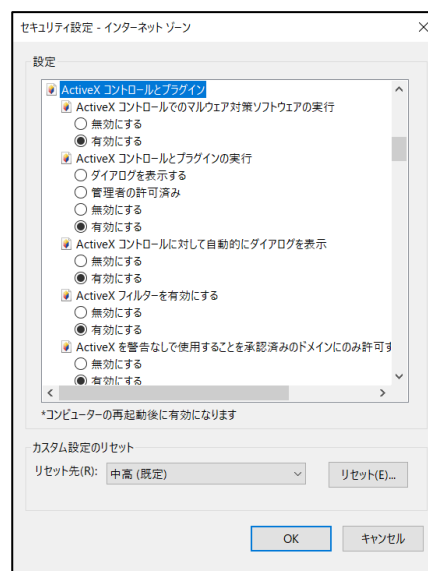
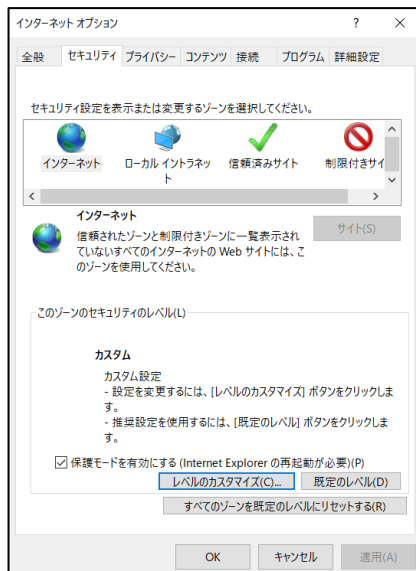
- IE ブラウザが ActiveX をブロックしている可能性があります。以下のように試してください。

- ① IE ブラウザを開きます。右上のツール  → インターネットオプションをクリックします。



- ② “セキュリティ”タブの「レベルのカスタマイズ」を選択します。(左図)

- ③ 「ActiveX コントロールとプラグイン」下の、すべてのサブオプションを有効にします。(右図)



- ④ OK をクリックして、設定を終了します。

- 他のプラグインまたは ActiveX がアンチウイルスブロックされています。アンインストールするか閉じてください。

8. 製品保証

- ◆ 故障かなと思われた場合には、弊社カスタマサポートまでご連絡ください。
 - 1) 修理を依頼される前に今一度、この取扱説明書をご確認ください。
 - 2) 本製品の保証期間内の自然故障につきましては無償修理させていただきます
 - 3) 故障の内容により、修理ではなく同等品との交換にさせて頂く事があります。
 - 4) 弊社への送料はお客様の負担とさせていただきますのでご了承ください。

初期不良保証期間：

ご購入日より **3ヶ月間**（弊社での状態確認作業後、交換機器発送による対応）

製品保証期間：

《本体》ご購入日より **1年間**（お預かりによる修理、または交換対応）

- ◆ 保証期間内であっても、以下の場合には有償修理とさせていただきます。
（修理できない場合もあります）
 - 1) 使用上の誤り、お客様による修理や改造による故障、損傷
 - 2) 自然災害、公害、異常電圧その他外部に起因する故障、損傷
 - 3) 本製品に水漏れ・結露などによる腐食が発見された場合
- ◆ 保証期間を過ぎますと有償修理となりますのでご注意ください。
- ◆ 一部の機器は、設定を本体内に記録する機能を有しております。これらの機器は修理時に設定を初期化しますので、お客様が行った設定内容は失われます。恐れ入りますが、修理をご依頼頂く前に、設定内容をお客様にてお控えください。
- ◆ 本製品に起因する損害や機会の損失については補償致しません。
- ◆ 修理期間中における代替品の貸し出しは、基本的に行っておりません。別途、有償サポート契約にて対応させて頂いております。有償サポートにつきましてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ◆ 本製品の保証は日本国内での使用においてのみ有効です。

製品に関するご質問・お問い合わせ先

ハイテクインター株式会社

カスタマサポート

TEL 0570-060030

E-mail support@hytec.co.jp

受付時間 平日 9 : 00 ~ 17 : 00